

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民芸術文化祭運営事業			事務事業コード	30460100
概要	市民芸術文化祭の実施				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	昭和39年度～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業					
対象	参加者：日頃から自主的に芸術活動を行っている市民 参観者：全市民				
実施の背景	芸術文化活動を自主的に展開している市民の日頃の成果を発表する機会をつくり、文化活動を育成・奨励していくため、昭和39年度より実施している。				
事業目標	市民相互の文化の交流や、これまで芸術文化に親しみのなかった市民が芸術文化に親しむことを促進し、府中市がこれまで培ってきた伝統や文化を次世代へ継承していくことを目標とする。				
事業内容	府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）との共催により、市内各施設において催し物を実施する。各事業については、団体関係者による出演や出品のほか、可能な限り一般市民の参加を呼びかけ、広く事業に参加できる方法をとっている。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
平成27年9月6日開会式 平成27年11月28日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館 ・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中 参加者数 4,968人、参観者数 120,465人	府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）との共催により、全41事業を実施した。 府中市芸術文化協会が1団体減少したことに伴い、実施事業も1事業減少した。 参加者・参観者の数については、ほとんどの催物が減少し、共に計画値を下回った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
平成28年9月4日開会式 平成28年12月3日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館 ・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中	府中市芸術文化協会との共催により、全41事業を実施する。 参加者・参観者の数を増加させるため、PR方法や運営方法を検討する。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
平成28年9月4日オープニングフェスティバル 平成28年12月3日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館 ・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中 参加者数 5,643人、参観者数 139,856人	府中市芸術文化協会との共催により、全41事業を実施した。 平成28年度より「開会式」を「オープニングフェスティバル」へと改称し参観者増加に努め、参観者は昨年に比べ全体としても増加した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
平成29年9月3日オープニングフェスティバル 平成29年12月2日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館 ・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中	府中市芸術文化協会との共催により、全41事業を実施する。 参加者・参観者の数を増加させるため、PR方法や運営方法を検討する。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	文化の振興・伝統文化の次世代への継承のため、市民からの要望が高い事業であるが、より多くの参加者・参観者に事業に携わっていただくためにPR方法についても検討を要する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
市民芸術文化祭の参加者数	5,580	計画 当初値	5,660	5,700	5,740	5,780	5,780	例年減少傾向にあったが、28年度は指標が計画値を若干下回る程度で、指標は上回った。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	5,267	4,885	5,643	-	-		
市民芸術文化祭の参観者数	121,247	計画 当初値	124,000	125,000	126,000	127,000	127,000	
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	122,748	120,249	139,856	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	13,311,000	13,893,000	13,398,000	13,260,000	13,144,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	12,000,000	0	0	0	0	0
一般財源	1,311,000	13,893,000	13,398,000	13,260,000	13,144,000	0
予算現額	13,311,000	13,953,000	13,072,000	13,015,000	0	0
決算額	13,000,772	13,789,066	12,870,710	12,809,362	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,000,772	13,789,066	12,870,710	12,809,362	0	0
執行率	97.7%	98.8%	98.5%	98.4%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.06	1.26	1.28	1.28		
職員人件費	8,476,754	9,630,371	9,970,356	9,971,969		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	325,542	354,972	684,606	444,975		
総コスト	21,803,068	23,774,409	23,525,672	23,226,306	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
毎年9月初旬から11月下旬にかけ、府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）加盟団体を中心として、市内で文化活動を行っている団体や個人が参加でき、また一般市民が参観できる様々な催しを行っている。平成28年度は37団体が41事業を実施した。開催に先立ち府中の森芸術劇場で開会式（オープニングフェスティバル）を行っており、平成20年度より参加団体自身によるアトラクションを主体とした形に切り替え、また、府中市の文化を紹介する形式をとることにより、市民にとって親しみやすい催物となってきた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
平成28年度より「開会式」を「オープニングフェスティバル」へと改称し、市民にとってより参観しやすい事業として参観者増加に努めた。その他事業についても、参加者・参観者の増加を第一の目標として催物のあり方やPR方法について考え、参加団体の自主性を高めることで、より良い運営と更なる市民参加を目指していきたい。また、市と市民との協働事業として長年開催され、市民の文化・芸術活動の発展の場として定着している事業であることを生かし、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた気運醸成と文化の発展に寄与した取組を工夫していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0276000	市民芸術文化祭運営費	13,260,000	12,809,362	13,144,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							13,260,000	12,809,362	13,144,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	民俗芸能伝承普及事業			事務事業コード	30460200
概要	民俗芸能の伝承普及、後継者育成				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業					
対象	市民、府中囃子保存会、武蔵国府太鼓連盟等				
実施の背景	府中囃子を昭和58年に市指定無形民俗文化財に指定した。武蔵国府太鼓を昭和57年に市の民俗芸能として創作した。				
事業目標	市の民俗芸能である府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成				
事業内容	1 府中囃子演奏技術伝承事業 府中囃子保存会に演奏技術伝承事業の委託を行い、演奏技術の伝承を図る。 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 武蔵国府太鼓連盟に武蔵国府太鼓の講習会実施を委託し、伝承普及を図る。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：5月8日～3月25日 (全44回)	・府中囃子演奏技術伝承事業は、後継者を育成するため、技術伝承を府中囃子保存会に加盟している24団体に委託し、事業を継続的に展開した。特に若い世代の指導にあたっては、青少年の健全育成の観点から、囃子を通じた心技体等総合的育成に努めた。・武蔵国府太鼓は練習会場の定員の関係から応募資格に制限を設けた。その結果27年度の応募は51名と例年に比べ減少したが、少人数となったことでより充実した練習を行なうことができ、府中市市民芸術文化祭や桜まつりで練習の成果を発表した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：5月6日～3月24日 (全44回)	府中囃子、武蔵国府太鼓ともに現状のまま継続して実施するが、武蔵国府太鼓は、講習場所の定員数をオーバーしていることや新規受講者の開拓を促すべく27年度より3年連続受講までの制限を設け、これを継続していく。

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：5月6日～3月24日 (全44回)	府中囃子演奏技術伝承事業は、後継者を育成するため、技術伝承を府中囃子保存会に加盟している24団体に委託し、事業を継続的に展開した。特に若い世代の指導にあたっては、青少年の健全育成の観点から、囃子を通じた心技体等総合的育成に努めた。武蔵国府太鼓は練習会場の定員の関係から応募資格に制限を設けたことで、参加者は27年度に減少したが、28年度は前年度に比べ増加し、府中市市民芸術文化祭や桜まつりで練習の成果を発表した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：7月21日～3月30日 (全34回) 3 府中囃子のCD作成・販売	府中囃子、武蔵国府太鼓ともに現状のまま継続して実施するが、武蔵国府太鼓は、講習場所を府中グリーンプラザから新施設である府中の森劇場分館へ変更するとともに、27年度より設けている3年連続受講までの制限を継続し、新規受講者の開拓を促していく。また、市の無形民俗文化財である府中囃子を市内外へ広く普及するとともに、演奏技術を正しく継承することを目的に府中囃子のCDを作成し販売する。

平成30年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続	B	本事業を実施することにより、府中市の民俗芸能である府中囃子と武蔵国府太鼓の伝承・普及を推進しているため、今後も継続して実施していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
武蔵国府太鼓伝承事業参加者数	73	計画値 当初値	77	79	81	83	新規受講の方に加え複数年継続して受講されている方が多数いるため、応募者数が年々増加していた。しかし、音楽室の定員をオーバーしていることや、新規受講者の開拓を促すべく連続3年を受講限度としたため数値を補正した。
		計画値 補正值	-	50	50	50	
	実績	84	51	64	-	-	
-	-	計画値 当初値	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	2,526,000	2,522,000	2,520,000	2,520,000	3,202,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,000,000	0	0	0	0	0
一般財源	1,526,000	2,522,000	2,520,000	2,520,000	3,202,000	0
予算現額	2,526,000	2,522,000	2,520,000	2,520,000	0	0
決算額	2,230,837	2,317,213	2,508,358	2,337,484	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,230,837	2,317,213	2,508,358	2,337,484	0	0
執行率	88.3%	91.9%	99.5%	92.8%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.42	0.41	0.31	0.31		
職員人件費	3,390,702	3,127,813	2,386,068	2,386,454		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	122,078	106,491	163,835	106,489		
総コスト	5,743,617	5,551,517	5,058,261	4,830,427	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市の民俗芸能である府中囃子（市指定無形民俗文化財）の演奏技術伝承事業を実施し、府中囃子の保存伝承に努めており、府中囃子の継承団体である府中囃子保存会の会員数は増加している。また、市の創作芸能である武蔵国府太鼓の演奏技術伝承事業として講習会を実施し、参加者数は増加傾向にある。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
武蔵国府太鼓は、市の民俗芸能として市民に認識されつつあるが、継承団体数や規模は発展途上であり、講習会の修了者の処遇と併せて課題となっている。また、府中囃子・武蔵国府太鼓ともに、人から人への伝承は行われているが、府中市の民俗芸能として市内・外への周知をより一層図るためには、電子化等による情報発信等が課題となる。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	10	0278000	民俗芸能伝承普及事業費	2,520,000	2,337,484	3,202,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							2,520,000	2,337,484	3,202,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民文化活動事業奨励事業			事務事業コード	30460300
概要	芸術文化活動において特に功績のあった者と、長期にわたり芸術文化団体の活動に尽力した者の表彰。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市民芸術文化奨励賞の選考及び授与等に関する要綱、感謝状の贈呈に関する基準				
市関連事業					
対象	府中市民芸術文化奨励賞は、期間内に、自主的な芸術文化活動において特に功績のあった個人、または団体。府中市文化活動功労賞は、芸術文化団体の役員を10年以上経験した個人。				
実施の背景	平成6年に府中市民芸術文化奨励賞の選考及び授与等に関する要綱が制定された。また、昭和52年に感謝状の贈呈に関する基準が制定された。				
事業目標	市民文化活動を奨励することにより広く市民文化の振興と向上を図る。				
事業内容	芸術文化奨励賞については、期間内に芸術文化活動において特に功績のあった個人または団体を対象に、広報等で候補者を募り、審査委員会を設置して該当者を決定する。 文化活動功労賞については、芸術文化団体の役員を10年以上務めた者を対象に、各文化団体からの推薦により候補者を募り該当者を決定する。 共に府中市民芸術文化祭開会式で表彰する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 受賞者なし 府中市文化活動功労賞 14名授与 	府中市民芸術文化奨励賞については、該当者がいなかったため、受賞者なし。 府中市文化活動功労賞については、受賞条件に該当する者が14名あった。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 4月1日号広報及びホームページで推薦を募集、審査委員会にて審査。 府中市文化活動功労賞 府中市芸術文化協会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査。 共に該当者は府中市民芸術文化祭オープニングフェスティバルで表彰する。 	府中市民芸術文化奨励賞及び府中市文化活動功労賞の受賞者数について、それぞれの計画値を達成できるよう周知を図る。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 受賞者なし 府中市文化活動功労賞 11名授与 	府中市民芸術文化奨励賞については、該当者がいなかったため、受賞者なし。府中市文化活動功労賞については、受賞条件に該当する者が11名あった。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 4月11日号広報及びホームページで推薦を募集、審査委員会にて審査。 府中市文化活動功労賞 府中市芸術文化協会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査。 共に該当者は府中市民芸術文化祭オープニングフェスティバルで表彰する。 	府中市民芸術文化奨励賞及び府中市文化活動功労賞の受賞者数について、それぞれの計画値を達成できるよう周知を図る。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	本事業は、文化活動における功績を称えるもので、市民の文化活動の推進に寄与していると考えられる。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
府中市民芸術文化奨励賞受賞者数	1	計画値 当初値	1	1	1	1	1	指標については該当者がいなかったため、計画値を下回った。指標については受賞条件に該当する者が11名と、計画値を下回った。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	2	0	0	-	-		
府中市文化活動功労賞受賞者数	17	計画値 当初値	17	17	17	17	17	
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	12	14	11	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	174,000	168,000	156,000	126,000	119,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	174,000	168,000	156,000	126,000	119,000	0
予算現額	174,000	172,000	156,000	126,000	0	0
決算額	78,525	101,964	64,860	69,273	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	78,525	101,964	64,860	69,273	0	0
執行率	45.1%	59.3%	41.6%	55.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.32	0.30	0.31	0.31		
職員人件費	2,543,026	2,304,704	2,386,068	2,386,454		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	81,385	70,994	163,835	106,489		
総コスト	2,702,936	2,477,662	2,614,763	2,562,216	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市民芸術文化奨励賞は、自主的な芸術文化活動において著しい成果をあげた個人や団体を表彰し、市民文化の更なる振興と向上を図ってきた。文化活動功労賞は、市内で活動する文化団体において、長期にわたり運営に携わってきた個人に感謝状を贈呈し、今後の活動の励みとなってきた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市民芸術文化奨励賞について、広報等で表彰者の推薦を募集しているが、応募が少ないため、市内の小中学校などへ事業の周知を図り広く候補者を募る。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0277000	市民文化活動事業奨励費	126,000	69,273	119,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							126,000	69,273	119,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	文化活動支援事業			事務事業コード	30460400
概要	市民を対象として実施される文化事業に補助金を交付する。また、第2次府中市文化振興計画を策定する。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和59年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市市民文化活動に対する補助金交付要綱、府中市附属機関の設置等に関する条例				
市関連事業					
対象	府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業、文化に関する施策				
実施の背景	府中市の伝統文化・芸術の継承及び、新しい文化人の育成に寄与することを目的とし、昭和59年度より開始された。現文化振興計画の計画期間が29年度をもって終了することに伴い、引き続き本市における文化施策を推進するため、次期計画を策定する。				
事業目標	▽様々な芸術文化活動を補助することにより、市民交流を深め、伝統文化や伝統芸能とふれあい、芸術文化への興味と理解を育み、健全な地域社会づくりに貢献することを目標とする。▽第2次府中市文化振興計画を策定する。				
事業内容	▽市民が主体的に取り組んでいる文化振興活動について支援することを意図とし、市民を対象として実施される文化事業に対して補助金を交付する。 ▽文化振興計画検討協議会の委員は、有識者ほか、文化・芸術に関係する各団体の関係者、公募市民2名を含み10名で構成している。市長の諮問に応じて、第2次府中市文化振興計画案に関する事項等について審議する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付。12事業に交付した。	14事業（団体）からの申請を見込んでいたが、2事業（団体）が申請を取り止めたため、12事業に交付した。その結果、計画値を下回った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付。14事業（団体）からの申請を見込んでいる。	昨年度と同様、継続して事業に取り組む。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付し、14事業に交付した。 ▽文化振興計画検討協議会の開催 3回	▽計画通り、14事業（団体）からの申請を受け、補助金を交付した。 ▽現計画の取組状況や評価、文化施策及び施設の現状について、審議した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
▽府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付し、今年度は15事業（団体）からの申請を見込んでいる。 ▽文化振興計画検討協議会の開催 5回	▽昨年度と同様、継続して事業に取り組む。 ▽市民の文化・芸術に関する意識調査を実施する。調査結果を基礎資料として、前年度の審議を踏まえ、次期計画案について審議・答申を行う。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	▽交付団体が増えるよう努めたいが、対象となる事業が限られているため、拡大は難しく、現状のまま継続が適当と思われる。 ▽平成30年度を初年度とする第2次府中市文化振興計画の策定に向けて審議していくが、当協議会は条例設置であるとともに定期的な開催であるため、大幅な見直しは必要ない。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
市民文化活動に対する補助 金交付事業数	15	計画 当初値	15	16	17	18	27年度より増加したものの、計 画値は下回った。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	事業 実績	14	12	14	-	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	事業 実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	240,000	225,000	196,000	531,000	5,768,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	240,000	225,000	196,000	531,000	5,768,000	0
予算現額	240,000	225,000	196,000	531,000	0	0
決算額	240,000	210,000	168,000	515,716	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	240,000	210,000	168,000	515,716	0	0
執行率	100.0%	93.3%	85.7%	97.1%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.32	0.30	0.31	0.47		
職員人件費	2,543,026	2,304,704	2,386,068	3,664,912		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	81,385	70,994	163,835	163,537		
総コスト	2,864,411	2,585,698	2,717,903	4,344,165	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
▽補助金交付の対象となる府中市芸術文化協会加盟団体全体に交付要件の説明を行い、一般市民を対象とした事業を実施する団体へ支援している。平成28年度は14団体が講座、講習会などを実施し、市民に文化活動の機会を提供した。
▽平成28年度は、協議会を3回開催し、現計画の取組状況や評価、文化施策及び施設の現状について審議した。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
▽事業の内容によっては一般の参加者が集まりにくい現状がある。今後、実施団体に事業の趣旨をよく理解していただき、事業内容や市民へのPR方法に工夫を凝らす必要がある。
▽平成29年度は、協議会を5回開催する。計画策定の基礎資料とするため、市民意識調査を実施し、文化施策に関する課題の分析及び施策の方向性の検討を行う。最終的に、計画案について市長へ答申する。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	05	0269000	文化振興計画検討協議会（仮称）運営費	335,000	319,716	577,000
2	01	10	35	05	0269500	文化振興計画策定費			4,981,000
3	01	10	35	10	0279000	補助金 文化団体活動事業費	196,000	196,000	210,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							531,000	515,716	5,768,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民文化の日運営事業			事務事業コード	30460500
概要	市民文化の日の実施。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成26年度～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業					
対象	全市民				
実施の背景	府中市文化振興計画において策定されている施策であり、市制60周年の平成26年度に合わせ、事業を開始する。				
事業目標	市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境の形成を目標とする。				
事業内容	10月第2日曜日を「市民文化の日」（平成26年度のみ10月5日）と定め、郷土の森博物館、府中市美術館の入場料、観覧料を無料とするほか、その他各文化施設において各種イベントを実施し、市民が多くの芸術文化・歴史に触れられるよう整備する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
10月11日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施した。 府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、府中市美術館、都立府中の森公園 来場者数 延べ13,301人	当日は午前中が悪天候であり、開催を中止したイベントもあったものの、計画値を上回った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
10月9日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施した。 府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、府中市美術館、都立府中の森公園	実施について、パンフレット・ポスター等を活用し市民への周知を図る。当日はスタンプラリーを実施し、楽しみながら多くの施設に足を運んでもらえるような取組を行う。また、より市民が親しみを持ってもらえる事業となるよう工夫を図る。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
10月9日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施した。 府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、府中市美術館、都立府中の森公園 来場者数 延べ16,551人	当日は午前中が若干の悪天候であったものの全事業を開催することができ、総来場者は昨年度より増加した。また、事業全体のPRとしてのぼり旗を作成し、施設に設置することで、事業の認知度を高めるよう努めたほか、施設内レストランとの連携による来場者へのサービス付与など、来場者の増加の工夫を図った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
10月8日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施する。 府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、府中市美術館、都立府中の森公園	実施について、パンフレット・ポスター等を活用し市民への周知を図る。当日はスタンプラリーを実施し、楽しみながら多くの施設に足を運んでもらえるような取組を行う。また、より市民が親しみを持ってもらえる事業となるよう工夫を図る。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	より多くの市民に多くの施設に足を運んでもらえるよう、内容やPR方法を工夫する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
市民文化の日の来場者数	10,300	計画 当初値	12,000	10,400	10,500	11,000	のぼり旗の作成や施設内レストランとの連携による来場者増加への工夫もあり、来場者は昨年度を上回った。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	9,358	13,301	16,551	-	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	0	143,000	135,000	292,000	237,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	143,000	135,000	292,000	237,000	0
予算現額	0	143,000	135,000	546,000	0	0
決算額	0	142,776	77,001	485,859	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	100,000	0	0
一般財源	0	142,776	77,001	385,859	0	0
執行率	0.0%	99.8%	57.0%	89.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.00	0.41	0.36	0.36		
職員人件費	0	3,127,813	2,812,152	2,812,607		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	0	0	193,091	125,505		
総コスト	0	3,270,589	3,082,244	3,423,971	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
当事業は、平成25年度まで府中市美術館・府中の森芸術劇場・府中市生涯学習センター・都立府中の森公園の4施設による共催で行っていたイベント「府中の森の文化まつり」の内容を、開催施設の増加、入館料・観覧料の無料等の取組みにより、発展的に受け継ぐものである。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
事業の拡大方法やPR方法について考え、来場者の増加につなげたい。また、屋外イベントについては、雨天の場合を想定した事業内容や対応策などを考える。文化施設を会場として、市内で文化・芸術に身近に触れていただくことを目的にしていることを活かし、各会場で東京2020オリンピック・パラリンピック大会の気運醸成や文化の発展に寄与する取組みを工夫していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0276500	市民文化の日運営費	292,000	485,859	237,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							292,000	485,859	237,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	グリーンプラザ管理運営事業			事務事業コード	30470200
概要	府中グリーンプラザの管理及び運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和55年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市立府中グリーンプラザ条例				
市関連事業					
対象	府中グリーンプラザ				
実施の背景	市民文化の向上を図るとともに、コミュニティ活動を増進するための施設として整備したことから、施設の管理・運営を行う。				
事業目標	様々な用途に対応可能な施設の貸出しを行い、市民の自主的な文化活動を支援する。				
事業内容	(公財)府中文化振興財団が指定管理者となり、音楽練習室やけやきホール、その他会議室等を有する府中グリーンプラザの適正かつ計画的な維持管理・運営を行うとともに、以下の業務について指定管理者が行う。また、経年劣化による施設整備の主なものについては市が行う。 使用許可に関する業務 使用に係る利用料金の徴収に関する業務 維持管理および運営に関する業務 物品販売の許可に関する業務				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 C 見直して継続
▼施設管理運営業務を委託 ※指定管理者として公益財団法人府中文化振興財団を選定 ▼平成27年度の主な修繕・工事内容 本館動力回路M-9系統幹線引替修繕 本館地下2階非常用自家発電機整備修繕 本館消化設備交換修繕 (ハロン・二酸化炭素) 本館地下2階非常用自家発電機用冷却水減圧水槽交換修繕 等	指定管理者による適正かつ計画的な施設の維持管理・運営が行われた。また、平成27年度に実施した、施設利用者アンケートでは、概ね良好な満足度が示されている。 一方で、開館から約36年経過している施設であり、設備の老朽化が懸念されていることから、定期的に設備を点検し、これまで以上に適切な施設の維持管理に努める必要がある。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
▼施設管理運営業務を委託 ※平成27年度の指定管理者候補者選定委員会を経て公益財団法人府中文化振興財団による3期目の指定管理が決定した。(平成28年4月1日～平成30年3月31日の2年間の指定管理期間のうち1年目。) ▼躯体設備の経年劣化による修繕は市で行う。	公益財団法人府中文化振興財団による3期目の指定管理を迎える平成28年度は、指定管理者のこれまでの実績とノウハウに加え、駅直結という施設の利便性を活かし、引き続き利用者の確保に努める。 また、設備の老朽化を十分に理解し、定期点検以外にも積極的に自主点検を行っていく。修繕については、緊急性や必要性を見極めながら適切なタイミングで実施する。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 C 見直して継続
▼施設管理運営業務を委託 ※指定管理者として公益財団法人府中文化振興財団を選定 ▼平成28年度に市で実施した主な修繕 府中グリーンプラザ分館北側ガラス窓交換修繕	指定管理者による適正かつ計画的な施設の維持管理・運営が行われた。また、平成28年度に実施した施設利用者アンケートでは概ね良好な満足度が示されている。 一方で、開館から37年経過している施設であり、設備の老朽化が懸念されていることから、定期的に設備を点検し、これまで以上に適切な施設の維持管理に努める必要がある。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
▼施設管理運営業務を委託 ※平成27年度の指定管理者候補者選定委員会を経て公益財団法人府中文化振興財団による3期目の指定管理が決定した。(平成28年4月1日～平成30年3月31日の2年間の指定管理期間のうち2年目。) ▼躯体設備の経年劣化による修繕は市で行う。	平成30年3月31日(土)をもって府中グリーンプラザ及び分館は閉館することとなるが、最終年度となる平成29年度も指定管理者のこれまでの実績とノウハウを活かし、利用者が安心且つ快適に施設を利用していただけよう管理運営に努める。また、施設の老朽化を十分に理解し、定期点検以外にも積極的に自主点検を行っていく。修繕については、緊急性や必要性を見極めながら適切なタイミングで実施する。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	D	平成28年第3回市議会定例会において「府中グリーンプラザ条例を廃止する条例」が議会で可決されたことに伴い、府中グリーンプラザ及び分館は平成30年3月31日(土)をもって閉館する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	2	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
グリーンプラザ貸出施設の 平均稼働率	76.9	計画 当初値	77	77	78	78	若干の落ち込みはあるが、一定の稼働率を維持しており、利用者を安定的に確保できている。	
		計画 補正值	-	-	-	-		平成29年度
	%	実績	75	76	74	-		-
-	-	計画 当初値	-	-	-	-		
		計画 補正值	-	-	-	-		
-	-	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	175,100,000	131,313,000	132,339,000	128,924,000	125,262,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	35,000,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	6,570,000	14,836,000	14,836,000	14,836,000	10,703,000	0
一般財源	133,530,000	116,477,000	117,503,000	114,088,000	114,559,000	0
予算現額	179,123,000	143,243,000	134,715,000	130,697,000	0	0
決算額	177,459,033	139,321,818	124,227,740	123,379,364	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	27,200,000	3,000,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	9,841,820	14,836,668	14,836,668	15,035,388	0	0
一般財源	140,417,213	121,485,150	109,391,072	108,343,976	0	0
執行率	99.1%	97.3%	92.2%	94.4%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.95	0.90	0.91	1.07		
職員人件費	7,629,079	6,831,802	7,072,988	8,352,589		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	1,718,950	1,288,376	485,655	372,714		
総コスト	186,807,062	147,441,996	131,786,383	132,104,667	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ▼平成18年度から指定管理者制度を導入し、公益財団法人府中文化振興財団による当該施設の適正かつ計画的な維持管理・運営が行われてきた。 ▼駅前という立地の良さから、施設の稼働率は常に75%前後を維持しているが、過去の実績と比較すると、利用率は年々低下傾向にある。対策としては、施設利用者や近隣住民に対し、施設案内のチラシを配布する等、稼働率の向上や利用者の新規開拓に向けた取組を行った。 ▼平成23年度には耐震診断評定を取得し、耐震性能を有する施設であることが証明された。 ▼近年の大規模改修工事としては、平成23年度の外壁改修工事（けやき並木通り側と甲州街道側）、平成25年度のエレベーターの改修工事等がある。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> ▼平成28年第3回市議会定例会において「府中グリーンプラザ条例を廃止する条例」が議会で可決されたことに伴い、府中グリーンプラザ及び分館は平成30年3月31日（土）をもって閉館することが決まった。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	25	0310000	施設管理運営費 管理運営業務委託料 (債務負担行為 解消分)	126,514,000	121,407,673	122,894,000
2	01	10	35	25	0310500	施設管理運営費 諸経費	1,410,000	198,720	1,368,000
3	01	10	35	25	0310600	グリーンプラザ営業補償算定調査費	0	1,772,971	
4	01	10	35	25	0310700	グリーンプラザ営業補償金			0
5	01	10	35	25	0314000	グリーンプラザ整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							128,924,000	123,379,364	125,262,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民会館管理運営事業			事務事業コード	30470300
概要	市民会館の管理及び業務運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成19年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市市民会館条例				
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	市民会館				
実施の背景	平成17年度PFI府中市市民会館・中央図書館(株)と契約し、平成19年12月1日開館。平成34年9月までの15年契約。市民会館部分については、指定管理者制度を導入している。				
事業目標	当該施設を安心・安全かつ快適に利用していただき、稼働率を増加させることにより、より多くの市民に親しまれる文化施設とする。				
事業内容	<p>(株)京王設備サービスを指定管理者として、コンベンションホール飛鳥、会議室、音楽練習室等を有する市民会館の適正かつ計画的な管理運営を行い、以下の業務について指定管理者が行う。一方で、施設の維持管理業務（一部運営業務）については、SPCであるPFI府中市市民会館・中央図書館(株)が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民会館の使用許可に関する業務（不許可・条件変更も含む。） 市民会館の使用に係る利用料金の徴収に関する業務（還付・減免を含む。） 市民会館の運営に関する業務 物品販売の許可に関する業務 				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼(公財)府中文化振興財団への業務運営委託</p> <p>▼第2期指定管理(平成23年度～平成27年度5年間のうち5年目)</p> <p>▼PFI府中市市民会館・中央図書館(株)への施設管理運営委託</p> <p>【利用状況】</p> <p>コンベンションホール、講師控室、レクリエーションルーム、音楽練習室</p> <p>利用件数 575 利用率 59.6%</p>	平成19年度から指定管理者制度を導入して、当該施設の適正かつ計画的な運営に努め、市民に利用しやすい施設となることにより稼働率の上昇につなげている。平成27年度は当初計画どおり事業を実施し、多くの市民に文化・芸術に関心を持っていただいた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
平成28年度から、指定管理者が公益財団法人府中文化振興財団から株式会社京王設備サービスになり、PFI事業者と連携し一体的な管理運営を行い、市民サービスの向上をめざし、より多くの市民に利用していただける施設をめざす。	新指定管理者となり、引き続きさらなる稼働率の確保に努め、安全で利用しやすい施設をめざす。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼(株)京王設備サービスへの業務運営委託</p> <p>▼第3期指定管理(平成28年4月～平成34年9月)</p> <p>▼PFI府中市市民会館・中央図書館(株)への施設管理運営委託</p> <p>【利用状況】</p> <p>コンベンションホール、講師控室、レクリエーションルーム、音楽練習室</p> <p>利用件数 585 利用率 60.8%</p>	施設の維持管理業務を行っている株式会社京王設備サービスが指定管理者となることで、効率的な施設運営を図ることができた。当該施設の適正かつ計画的な運営に努め、稼働率の上昇につなげている。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
PFI事業者と連携し一体的な管理運営を行い、市民サービスの向上をめざし、より多くの市民に利用していただける施設をめざす。	引き続きさらなる稼働率の確保に努め、安全で利用しやすい施設をめざす。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	平成34年9月のPFI事業期間終了まで、現状のままの事業を継続していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
市民会館平均稼働率	59	計画 当初値	60	61	62	62	P F I 事業方式により施設の建設から管理運営までを民間等にまかせることで、稼働率の向上が期待される。なお、講師控室の稼働率が低いと計画値の補正を行った。	
		計画 補正值	59	59	59	-		平成29年度
	%	実績	59.4	59.6	60.8	-		-
-	-	計画 当初値	-	-	-	-		-
		計画 補正值	-	-	-	-		-
-	-	実績	-	-	-	-		-

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	169,964,000	170,741,000	169,967,000	170,583,000	170,646,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	12,500,000	12,200,000	13,300,000	13,500,000	13,400,000	0
一般財源	157,464,000	158,541,000	156,667,000	157,083,000	157,246,000	0
予算現額	169,964,000	168,741,000	169,967,000	170,583,000	0	0
決算額	166,845,128	166,130,831	165,312,047	168,738,561	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	13,185,800	13,553,351	13,395,000	12,813,800	0	0
一般財源	153,659,328	152,577,480	151,917,047	155,924,761	0	0
執行率	98.2%	98.5%	97.3%	98.9%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.06	0.90	0.80	0.80		
職員人件費	8,476,754	6,831,802	6,220,821	6,221,827		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	1,226,836	1,283,731	427,142	277,634		
総コスト	176,548,718	174,246,364	171,960,010	175,238,022	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

平成19年に開館し、適正かつ計画的な維持管理・運営に努めている。
市民会館部分については、平成19年度から指定管理者制度を導入して、当該施設の適正かつ計画的な運営に努め、市民により利用しやすい施設となることにより稼働率の上昇につながった。

今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）

長期修繕計画等に基づき計画的な運営を行う。
P F I 府中市民会館・中央図書館(株)及び指定管理者との連携を強化し、サービスの向上を目指し、より多くの市民に利用していただける施設を目指す。
府中グリーンプラザ及び分館の閉館をひかえ、活動場所を市民会館へ移す利用者もいると考えられるため、新たにホールや会議室の利用を希望される利用者へきめ細かく対応し、更に稼働率の向上に努める必要がある。平成34年9月にはP F I 事業、指定管理期間とも終了するため、その後の運営形態をどのようにするか課題となる。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	30	0315000	施設管理運営費 業務運営委託料（債務負担行為解消分）	6,361,000	6,361,000	6,172,000
2	01	10	35	30	0316500	施設管理運営費 諸経費	843,000	0	818,000
3	01	10	35	30	0318000	市民会館複合施設整備等事業費（債務負担行為解消分） 管理運営委託料	43,153,000	43,152,188	43,302,000
4	01	10	35	30	0319000	市民会館複合施設整備等事業費（債務負担行為解消分） 施設購入費	119,226,000	119,225,373	119,354,000
5	01	10	35	30	0319100	市民会館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							170,583,000	168,738,561	170,646,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	府中の森芸術劇場管理運営事業			事務事業コード	30470400
概要	府中の森芸術劇場の管理及び運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成3年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市立府中の森芸術劇場条例				
市関連事業	府中駅南口再開発推進事業				
対象	府中の森芸術劇場本館及び分館				
実施の背景	平成3年に、市民の芸術文化の振興を図るために府中の森芸術劇場を設置し、平成18年度から指定管理者制度を導入している。また、平成29年度より府中の森芸術劇場分館を設置し、同様に指定管理者制度を導入している。				
事業目標	当該施設を安全・安心かつ快適に利用していただき、稼働率を増加させることにより、より多くの市民に文化・芸術に関心を持っていただく施設とする。				
事業内容	(公財)府中市文化振興財団が指定管理者となり、3つのホール等を有する府中の森芸術劇場及び4つの音楽練習室を有する府中の森芸術劇場分館について適正かつ計画的な維持管理・運営を行い、以下の業務について指定管理者が行う。一方で、経年劣化による大規模改修等の施設整備については市が行う。 使用許可に関する業務 使用に係る利用料金の徴収に関する業務 維持管理および運営に関する業務 物品販売の許可に関する業務				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>【本館】…▼施設管理運営委託▼劇場消火設備交換修繕 (ハロン・二酸化炭素) ▼ホール防火戸修繕▼どりーむホール緞帳飾りパネル修繕▼ホール搬入口シャッター修繕▼ギヤボックスオイル交換修繕▼ピアノオーバーホール (スタイウェイ・パーセントワール) ▼連結送水口改修工事▼スプリンクラー設備改修工事</p> <p>【分館】…実施設計に向けて、関係課と協議し設計内容を検討した。</p>	<p>【本館】…基本的には指定管理に係る基本協定書に基づき実施した。開館から24年が経過し、経年劣化による不具合が生じていた施設・設備について修繕や改修工事を行った。</p> <p>【分館】…平成27年4月1日に株式会社I N A新建設研究所と実施設計委託契約を締結し、実施設計委託料 (13,672,800円) を支出した。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<p>【本館】…▼施設管理運営委託 ▼昇降機設備改修工事 ▼中央監視装置等交換修繕</p> <p>【分館】…内装工事について、関係事業者、関係課と協議し進める。施設の管理・運営については指定管理者制度を導入するため、指定管理者選定委員会を設置し、選定を行う。</p>	<p>【本館】…指定管理に係る基本協定書に基づき実施する予定。また、開館以来更新しておらず経年劣化の進行していた中央監視装置等の交換修繕及び既設昇降機の交換部品の供給が打ち切られることから昇降機3基の改修工事を行う。</p> <p>【分館】…平成29年度の開館 (内装工事費、建物費支出) に向けて、継続して事業を進める。</p>	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>【本館】…▼施設管理運営委託、▼昇降機設備改修工事、▼中央監視装置等交換修繕</p> <p>【分館】…▼内装工事の実施、▼指定管理者選定委員会による指定管理者の選定、▼事前予約特設会場設置による利用予約受付の開始</p>	<p>【本館】…基本的には指定管理にかかる基本協定書に基づき実施した。経年劣化による不具合が生じていた中央監視装置及び交換部品の供給が打ち切られる昇降機3基の改修工事を行い、開館から25年を迎えた施設の老朽化対策の検討を進めた。</p> <p>【分館】…平成29年度7月の開館に向けて、継続して事業を進めた。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<p>【本館】…▼施設管理運営委託、▼施設の老朽化対策の検討</p> <p>【分館】…▼平成29年度7月開館に向けた設備・業務体制の整備</p>	<p>【本館】…指定管理に係る基本協定書に基づき実施する予定。また、開館から25年を迎えた施設の老朽化対策の検討を継続して行う。</p> <p>【分館】…指定管理に係る基本協定書に基づき実施する予定。市民にとって安全で利用しやすい施設を目指す。</p>

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市の財政状況を考慮し、指定管理者にはいっそうの経営努力を求めていくが、基本的には指定管理に係る基本協定書に基づき5年間実施していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
府中の森芸術劇場3ホール 平均稼働率	72.1	計画 当初値	74	75	75	76	76	3ホール平均稼働率がアップしたのは、首都圏の劇場等の改修が重なってしまったことによる所もあるが、過去に利用された方々へのDM送付や利用促進ポスターの掲示等の地道な努力の成果によると考える。また、レストランとタイアップしたチケット予約や、夏季コンクール時に広場にオープンテラスを設置し、軽食販売を実施するなど利用者サービスの向上を図った。
		計画 補正值	-	-	-	-		
	%	実績	77	77.2	79.3	-	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	267,964,000	313,331,000	303,042,000	383,185,000	827,218,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	16,500,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	311,000,000	0
その他	200,000,000	100,000,000	0	286,000	203,324,000	0
一般財源	67,964,000	196,831,000	303,042,000	382,899,000	312,894,000	0
予算現額	279,884,000	326,661,000	338,529,000	383,185,000	0	0
決算額	279,068,300	323,135,902	334,180,219	369,611,288	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	16,000,000	0	34,600,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	286,000	0	0
一般財源	279,068,300	307,135,902	334,180,219	334,725,288	0	0
執行率	99.7%	98.9%	98.7%	96.5%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.95	0.90	0.80	1.65		
職員人件費	7,629,079	6,831,802	6,220,821	12,869,806		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	270,272	207,516	427,142	574,291		
総コスト	286,967,651	330,175,220	340,828,182	383,055,385	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>【本館】…平成18年度から指定管理者制度を導入して、適正かつ計画的な維持管理・運営に努め、多くの市民に利用されている施設であり、高い稼働率を保っている。</p> <p>平成22年3月から9月にかけて、全館休館して第2期改修工事を行い、築20年を経て老朽化していた舞台設備を中心に一新したほか、オストメイト対応トイレやホール内昇降機を設置するなど、バリアフリー化も進んだ。</p> <p>平成28年度は、開館25周年を迎えたことにより様々な記念事業を行った。なかでも、どりーむコンサート100回記念「カルミナ・ブラーナ」では、プロのアーティストと市民大合唱団が共演し、記念事業を華やかに盛り上げることができた。</p>
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<p>【本館】…平成22年9月で終了した第2期改修工事後の、管理運営及び長期修繕計画の策定。</p> <p>特に、改修工事の対象とならなかった部分の老朽化が進んでいるため、長期的な修繕計画を立てる必要がある。平成28年度から32年度までの指定管理者となった公益財団法人府中文化振興財団と連携し、施設の適正な維持管理・運営に努める。</p> <p>【分館】…再開発建築物の区分所有者としての維持管理費（負担金）の支出を行うほか、平成29年度は、分館設置による建物購入費、内装工事・工事管理費の支出、運営に必要な備品等の購入を行う。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	35	0281690	府中の森芸術劇場分館整備事業費 施設購入費（債務負担行為解消分）			504,970,000
2	01	10	35	35	0281700	府中の森芸術劇場分館整備事業費 初度備品等購入費（債務負担行為解消分）			9,354,000
3	01	10	35	35	0281800	府中の森芸術劇場分館整備事業費 諸経費			1,330,000
4	01	10	35	35	0320000	施設管理運営費 管理運営業務委託料（債務負担行為解消分）	288,979,000	287,099,175	302,775,000
5	01	10	35	35	0320100	府中の森芸術劇場分館指定管理者候補者選定委員会（仮称）運営費	170,000	165,000	
6	01	10	35	35	0320200	府中の森芸術劇場分館準備事業費	286,000	277,913	726,000
7	01	10	35	35	0320500	施設管理運営費 諸経費	14,980,000	12,409,200	1,432,000
8	01	10	35	35	0320900	負担金 府中駅南口第一地区市街地再開発ビル管理組合			5,631,000
9	01	10	35	35	0325600	府中の森芸術劇場整備事業費 昇降機設備改修工事費	77,770,000	69,660,000	
10	01	10	35	35	0326000	府中の森芸術劇場整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							383,185,000	369,611,288	827,218,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	補助金 文化振興財団			事務事業コード	30470500
概要	府中グリーンプラザ・府中の森芸術劇場・府中市郷土の森博物館の自主事業の支援				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	公益財団法人府中文化振興財団				
実施の背景	府中市における地域文化の振興のため、府中の森芸術劇場をはじめとする4施設を拠点にそれぞれの特性を活かした事業の支援を行う。				
事業目標	当該施設を快適に利用していただき、利用者・利用率ともに増加させることにより、より多くの市民に文化、芸術及びふるさと府中の郷土への関心を持っていただく。				
事業内容	(公財)府中文化振興財団の法人管理・自主事業部分に係る人件費及び市民会館、府中の森芸術劇場、グリーンプラザ、郷土の森博物館において、文化振興財団が実施する、芸術文化振興事業・コミュニティ活動振興事業・郷土資料公開普及事業等の事業費に対して補助している。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等56事業 ○府中グリーンプラザ及び市民会館自主事業 各世代が集い交流の深まる事業23事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業26事業 	<p>本事業は、市の地域文化の振興に寄与すべく、府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、ルミエール府中、郷土の森博物館を拠点として、それぞれの館の特徴を生かしながら、各種事業を展開してきた。芸術文化振興事業、コミュニティ活動振興事業、郷土の森博物館普及事業をそれぞれの館で実施し、芸術家と学校の連携や市民参加型事業の実施などにより市民の芸術文化の向上のために貢献してきた。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等56事業 ○府中グリーンプラザ自主事業 各世代が集い交流の深まる事業24事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業24事業 	<p>市の文化振興計画に基づき、市と公益財団法人府中文化振興財団が協働で、市民の文化力の向上や心の豊かさの高揚を図るよう努める。具体的には、市の文化関連団体、ふるさと府中歴史館や美術館などの市の文化関連施設、学校教育との連携や文化保存と公開事業の連携などをすすめていく。また市民、専門家、学識経験者によって構成される公益財団法人評議員等の知識・経験やその意見を取り入れた事業企画を行い、他市にはない個性的な府中ブランドを展開する。</p>	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等62事業 ○府中グリーンプラザ自主事業 各世代が集い交流の深まる事業23事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業26事業 	<p>本事業は、市の地域文化の振興に寄与すべく、府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、郷土の森博物館を拠点として、それぞれの館の特徴を生かしながら、各種事業を展開してきた。芸術文化振興事業、コミュニティ活動振興事業、郷土の森博物館普及事業をそれぞれの館で実施し、芸術家と学校の連携や市民参加型事業の実施などにより市民の芸術文化の向上のために貢献してきた。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等54事業 ○府中グリーンプラザ自主事業 各世代が集い交流の深まる事業21事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業24事業 	<p>市の文化振興計画に基づき、市と公益財団法人府中文化振興財団が協働で市民の文化力の向上や心の豊かさの高揚を図るよう努める。具体的には、市の文化関連団体、ふるさと府中歴史館や美術館などの市の文化関連施設、学校教育との連携や文化保存と公開事業の連携などをすすめていく。また、市民や専門家、学識経験者によって構成される公益財団法人評議員等の知識・経験やその意見を取り入れた事業企画を行い、他市にはない個性的な府中ブランドを展開する。</p>

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	文化振興財団は、府中市における芸術・文化とコミュニティ活動の振興を図ることを目的に設立した団体であり、平成23年度より公益財団法人に移行し、市と連携しながら様々な公益目的事業を展開しているところである。厳しい財政状況の中、財団では今日まで市民ニーズを捉えつつ事業の経費削減に努めている。従って、現状のまま事業は継続し、大幅な見直しは必要ない。
B 現状のまま継続		
C 見直しして継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
府中の森芸術劇場・グリーンプラザ事業利用者数	243,000	計画 当初値	244,000	245,000	246,000	247,000	247,000	平成23年度から利用料金制を導入し指定管理者の努力により効果的、効率的な管理運営が可能になることにより、利用者数を増加させることが期待される。
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	280,765	300,837	315,941	-	-		
郷土の森博物館利用者数	293,158	計画 当初値	302,000	311,000	320,000	333,000	333,000	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	175,181	246,998	308,057	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	292,417,000	267,014,000	268,853,000	261,642,000	259,021,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	292,417,000	267,014,000	268,853,000	261,642,000	259,021,000	0
予算現額	292,417,000	267,014,000	268,853,000	261,642,000	0	0
決算額	261,836,851	264,580,875	264,374,242	261,642,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	261,836,851	264,580,875	264,374,242	261,642,000	0	0
執行率	89.5%	99.1%	98.3%	100.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.21	0.19	0.20	0.20		
職員人件費	1,695,351	1,481,596	1,533,901	1,534,149		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	25,910	23,168	105,322	68,457		
総コスト	263,558,112	266,085,639	266,013,465	263,244,606	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
本事業は、市の地域文化の振興に寄与すべく、府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、郷土の森博物館を拠点として、それぞれの館の特徴を生かしながら、各種事業を展開してきた。芸術文化振興事業では、芸術家や学校との連携を進めるほか、各種団体との共催後援事業を組み入れるなど、芸術文化の総合的な事業を展開してきた。コミュニティ活動振興事業では市民参加型事業を中心に心豊かな交流の深まる事業展開をしてきた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市から公益財団法人府中文化振興財団へ交付する補助金を毎年減額している状況において、文化振興財団独自の自主事業収入の増加を図ることにより、これまで以上に集客努力や広報活動を推進し、各種事業の入場・参加者数の増加を目指す。さらにより多くの市民が求める充実した内容で他市にない魅力ある事業を3つの施設で展開していくことが課題である。また市の文化振興計画に基づき、市と公益財団法人府中文化振興財団が連携し、市民の文化力の向上や心の豊かさの高揚を図るよう努める。具体的には市の文化関連団体、ふるさと府中歴史館や美術館などの市の文化関連施設、学校教育との連携や文化財の保存と公開事業の連携などがあげられる。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	35	0321000	補助金 文化振興財団	170,543,000	170,543,000	166,324,000
2	01	50	30	10	1548600	補助金 文化振興財団			7,776,000
3	01	50	30	21	1581000	補助金 文化振興財団	91,099,000	91,099,000	84,921,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							261,642,000	261,642,000	259,021,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	郷土の森博物館管理運営事業			事務事業コード	30470600
概要	郷土の森博物館における維持管理・企画運営に係る事業				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和62年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市郷土の森博物館条例				
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	郷土の森博物館				
実施の背景	多くの方々にご利用いただくとともに、ふるさと府中の貴重な歴史資料を収集・保管・活用してきた。市外からの入館者も多く、多摩地区の総合博物館として、本市の歴史・文化の拠点ともいえる教育施設である。				
事業目標	より多くの市民に東京のふるさと府中の郷土・自然や天文に関心を持っていただく。また、ふるさと府中の郷土資料の調査・研究を行うことで、市民に郷土の歴史・文化を伝えていく。				
事業内容	平成18年度から指定管理者制度を導入して、当該施設の適切かつ計画的な維持管理・運営に努めるとともに、地域文化振興を図るためのプラネタリウムの運営や郷土資料調査・研究を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など 	当初計画どおり事業を実施できた。本館常設展示室のリニューアルにより、博物館入場者数は増加したが、更にリピーターを増加させるべく創意工夫をこらした事業展開を図っていく必要がある。特に、常設展示室を教育資源として活用していただくために、学校との連携を強化していく。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など (新規事業) プラネタリウム更新事業計画策定	前年度から引き続き継続して事業に取り組み、リニューアル後の郷土の森博物館常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図る。これまでの実績を活かし、地域に根差した博物館活用を行うとともに、さらなる事業の効率化を目指す。また、28年度から民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するプラネタリウム更新事業に係る基本的な考え方や更新内容をまとめるプラネタリウム更新事業計画策定等を行う。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など (新規事業) プラネタリウム更新事業計画策定	当初計画通り事業を実施できた。リニューアル後の郷土の森博物館常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図った。これまでの実績を活かし、地域に根差した博物館活用を行ったことから、入館者増となった。また、平成28年度から民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するプラネタリウム更新事業に係る基本的な考え方や更新内容をまとめるプラネタリウム更新事業計画策定を行った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など (新規事業) プラネタリウム更新工事	前年度から引き続き継続して事業に取り組み、郷土の森博物館常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図る。これまでの実績を活かし、地域に根差した博物館活用を行うとともに、さらなる事業の効率化を目指す。また、平成29年度から民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するため、平成28年度はプラネタリウム更新事業計画を策定し、平成29年度はプラネタリウム更新工事を行う。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	A	博物館として魅力的で効果的・創意工夫をこらした事業の企画・周知を図り、入館者の更なる増加に努める。またリニューアル後の郷土の森博物館常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図り、地域に根差した博物館活動を行う。平成29年度から民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するプラネタリウム更新工事を開始する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
郷土の森博物館年間入場者数	293,158	計画値	当初値	302,000	311,000	320,000	333,000	28年度入場者増は、あじさいまつりや梅まつりが好調だった。プラネタリウム観覧増は、季節ごとに利用者層を念頭に置いた番組を選定し、好評の番組を継続投影した結果と考えられる。
			補正值	-	-	-	-	
	実績	266,106	294,858	308,057	-	-		
郷土の森博物館プラネタリウム年間観覧者数	65,538	計画値	当初値	70,000	80,000	90,000	100,000	平成29年度
			補正值	-	-	-	-	
	実績	47,049	61,546	66,023	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	339,299,000	582,464,000	377,610,000	359,316,000	415,304,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	67,300,000	87,000,000	78,000,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	245,700,000	223,000,000	17,000,000	0	50,000,000	0
一般財源	93,599,000	292,164,000	273,610,000	281,316,000	365,304,000	0
予算現額	349,864,000	582,464,000	383,499,000	413,831,000	0	0
決算額	339,077,673	567,027,081	379,701,255	399,046,552	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	50,000,000	89,968,000	67,200,000	60,000,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	35,660	0	0	0	0	0
一般財源	289,042,013	477,059,081	312,501,255	339,046,552	0	0
執行率	96.9%	97.3%	99.0%	96.4%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.35	1.20	1.20	1.20		
職員人件費	10,789,697	9,136,506	9,349,492	9,351,004		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	61,588	72,676	81,398	66,883		
総コスト	349,928,958	576,236,263	389,132,145	408,464,439	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
昭和62年開館以来、多くの方々にご利用いただくとともに、ふるさと府中の貴重な歴史資料を収集・保管・活用してきた。多摩地区の総合博物館として、市外からの入館者も多く、本市の歴史・文化の拠点ともいえる教育施設である。平成18年度から指定管理者制度を導入。平成26年10月には本館常設展示室がリニューアルオープンし、子ども歴史街道・体験ステーションコーナーは、特に児童・生徒から人気を集め、リピーターを形成している。博物館全体として、季節ごとの花々などの魅力づくりの創出、入館者へのサービスの向上、おもてなしの心での接客といった取り組みを行っている。平成28年度からは、民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するプラネタリウム更新事業に係る基本的な考え方や更新内容をまとめるプラネタリウム更新事業計画策定等を行った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> 博物館としての魅力的な事業を企画・周知するとともに、効果的に実施し、入館者の更なる増加を図る。また、その目標を達成するため、リピーターを増加させるべく創意工夫をこらした事業展開を図る。特に、リニューアル後の常設展示室を教育資源として活用していくために、学校との連携を強化していく。これまでの実績を活かし、地域に根ざした博物館活動を行うとともに、さらなる事業の効率化が求められる。 郷土の森博物館は、開館から30年が経過し、空調関係や雨水管等の老朽化が目立っており、維持管理部分の大規模改修が進んでいないため、今後の大規模改修が大きな課題となっている。 プラネタリウムは、老朽化と機器の使用年限（平成29年度）が迫っていることから、平成29年度から更新工事を行う。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	21	1579000	施設管理運営費 管理運営業務委託料（債務負担行為 解消分）	237,874,000	237,696,720	233,898,000
2	01	50	30	21	1580000	施設管理運営費 事業委託料	5,625,000	5,625,000	5,613,000
3	01	50	30	21	1580500	施設管理運営費 諸経費	2,060,000	15,076,432	15,546,000
4	01	50	30	21	1580600	郷土の森博物館整備事業費 昇降機設備改修工事費			51,787,000
5	01	50	30	21	1588000	郷土の森博物館整備事業費 設計委託料			3,240,000
6	01	50	30	21	1588500	郷土の森博物館整備事業費 監理委託料	0	3,110,400	
7	01	50	30	21	1588600	郷土の森博物館整備事業費 調査委託料	5,800,000	9,126,000	
8	01	50	30	21	1590000	郷土の森博物館整備事業費 プラネタリウム設備改修 工事費			104,220,000
9	01	50	30	21	1590200	郷土の森博物館整備事業費 復元建築物改修工事費	0	28,512,000	
10	01	50	30	21	1590400	郷土の森博物館整備事業費 空調和設備改修工事費	106,957,000	99,900,000	
11	01	50	30	21	1591000	郷土の森博物館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							359,316,000	399,046,552	415,304,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館維持管理事業			事務事業コード	30470700
概要	府中市美術館の管理及び運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 美術館
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市美術館条例				
市関連事業					
対象	美術館				
実施の背景	市民の文化芸術に対する期待と需要がますます高まっていく中、身近に、心安らぎ希望と充実感を持てる空間を提供していく必要がある。				
事業目標	来館者の安全・快適な鑑賞空間を保持し、美術品の保存管理の安定的安全性を維持する。				
事業内容	<p>施設の適正かつ計画的な維持管理運営に努める。</p> <p>美術館の設置目的と基本テーマ「生活と美術」に基づいた収集保存、企画展示、常設展示、教育普及事業とともに、市民ギャラリー、美術図書室等の充実を図る。</p> <p>学識経験者や団体代表者、公募市民等の12名で構成する美術館運営協議会において、美術館のあり方等、美術館の今後の方向性を審議しており、当該協議会からの答申を基に、美術館の運営を行う。</p>				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼市民ギャラリーは、市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭や北多摩地区中学校美術展などに利用され、197日で28,304人が来場されました。</p> <p>▼美術図書を304冊購入し、美術図書室の充実を図り利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>▼教育普及事業では、ワークショップシリーズのアートスタジオをはじめ、公開制作、美術鑑賞教室等を実施した。</p>	<p>▼市民ギャラリーの利用率は、77.6%と26年度を下回ったものの、24年度から、4年連続して75%以上の利用率となり一定の評価ができる。</p> <p>▼賛助会員については、美術大学校に新規加入していただくなど、賛助会員の増加に努めた。</p> <p>▼照明のLED化をすすめ、CO2排出量を抑制できた。</p>	



新規・レベルアップ 継続 見直し 廃止 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<p>▼市民ギャラリーは市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭などの利用を促進する。</p> <p>▼美術図書室内のパソコンのソフトを更新し利便性を向上させる。</p> <p>▼運営協議会は8月に答申</p> <p>▼メンバーシップ・賛助会員は、大学への勧誘などで拡大を目指す。</p> <p>▼平成12年の開館以来、更新していなかった、中央監視制御装置を改修する。</p>	<p>▼引き続き適正な施設管理に努め、市民ギャラリーの利用者の増加を図る。</p> <p>▼賛助会員の会員数の増加を図る。</p> <p>▼平成12年の開館から15年が経過しようとしていて、機械設備の老朽や躯体にも劣化が発生してきている、今後のメンテナンスについて長期的な計画をすすめる。</p>	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼市民ギャラリーは市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭などで利用され、入場者数は23,662人を数えた。</p> <p>▼美術図書室内のパソコンのソフトを更新し利便性の向上に努めた。</p> <p>▼メンバーシップ・賛助会員は、新たに大学1校が加入の意向を示し、高校1校が加入した。</p> <p>▼中央監視制御装置を改修した。</p>	<p>当初の計画どおり事業を実施できた。</p>	



新規・レベルアップ 継続 見直し 廃止 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<p>▼市民ギャラリーは市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭などの利用を促進する。</p> <p>▼平成30年度の特天天井改修工事に伴う実施設計を実施する。</p> <p>▼メンバーシップ・賛助会員は、大学への勧誘などで拡大を目指す。</p> <p>▼不具合箇所の出しを行う。</p>	<p>▼適正な施設管理に努め、市民ギャラリーの利用者の増加を図る。</p> <p>▼賛助会員の会員数の増加を図る。</p> <p>▼平成30年度の特天天井改修工事に伴う実施設計を実施する。同工事に伴う長期休館を利用し不具合箇所の更新を行うため、不具合箇所の出しを行う。</p>

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続		B
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了	
		2
		特定天井改修工事は、建築基準法施行令の一部を改正する政令（平成25年政令第217号）に基づくものである。

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
入館者数	174,994	計画 当初値	180,000	190,000	195,000	200,000	200,000	展覧会入場者数、教育普及事業参加者数ともに高い水準を維持している。
		計画 補正值	180,000	190,000	195,000	200,000	平成29年度	
	実績	219,324	203,721	261,628	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	128,399,000	129,752,000	128,363,000	137,226,000	125,657,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	4,021,000	3,967,000	4,010,000	3,584,000	3,127,000	0
一般財源	124,378,000	125,785,000	124,353,000	133,642,000	122,530,000	0
予算現額	128,709,000	124,796,000	128,363,000	134,226,000	0	0
決算額	126,293,615	121,235,173	122,754,432	120,358,606	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	2,852,962	3,833,706	3,133,128	3,062,422	0	0
一般財源	123,440,653	117,401,467	119,621,304	117,296,184	0	0
執行率	98.1%	97.1%	95.6%	89.7%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	4.41	5.21	3.60	3.30		
職員人件費	35,246,343	39,667,664	28,048,475	25,715,260		
嘱託員数	0.3	0.3	0.2	0.2		
嘱託員人件費	971,423	1,005,217	653,897	643,531		
(間接経費)						
間接経費	2,937,179	3,338,323	2,588,396	2,479,769		
総コスト	165,448,560	165,246,376	154,045,199	149,197,166	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
施設管理においては、非常時に備え、自家発電機の点検整備の実施、非常照明用蓄電池の交換を行ってきた。節電対策として、深夜電力を活用し冷水を蓄熱し、日中の空調管理に使用して効率を図った。また、空調機の中性能フィルターを交換し、空調効率をあげた。利用者数の増加を図るため、常設展示室の壁面改修を行った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
比較的新しい施設ではあるが、設備の老朽化が現れている。美術品の保管に直接影響するため、不具合箇所の洗出しを行い施設修繕を計画的に実施していく。 メンバーシップ会員、賛助会員の加入促進を図り、財源確保に努める。 ショップとカフェの改善を検討し、充実を図る。 ボランティア等との協働を推進する。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	30	1607300	美術館運営協議会運営費	308,000	253,000	264,000
2	01	50	30	30	1614000	施設管理費 管理委託料	57,480,000	53,752,548	58,087,000
3	01	50	30	30	1615000	施設管理費 光熱水費及び燃料費	46,479,000	34,637,337	38,536,000
4	01	50	30	30	1616000	施設管理費 諸経費	31,959,000	31,715,721	22,170,000
5	01	50	30	30	1625200	美術館整備事業費 設計委託料			5,600,000
6	01	50	30	30	1626000	美術館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							137,226,000	120,358,606	125,657,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館展覧会運営事業			事務事業コード	30470800
概要	企画展の開催				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 美術館
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市美術館条例				
市関連事業					
対象	市民				
実施の背景	「生活と美術」の基本テーマの理念に沿い、地域に根ざした展覧会や全国の美術館とのネットワークを生かした市民の期待にこたえる展覧会を企画する。				
事業目標	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会う場所と機会を提供する。				
事業内容	優れた作品との出会いにより美術文化に対する深い理解と親しみをもち、より豊かな美意識を育める場となるように、企画展を催す。子どもの鑑賞活動を深めて、豊かな情操を養える企画展を開催する。本美術館の主催又は共催により、国内外の優れた美術作品を紹介する企画展を開催する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼企画展では、「マリー・ローランサン」、「若林奮 飛葉と振動」を実施するとともに、「武蔵府中・炎の油画家5人展—反町博彦・大森朔衛・高森明・戸嶋靖昌・保多棟人」、「ファンタスティック 江戸絵画の夢と空想」、221日開催し45,274人が来場されました。	▼企画展は、来場者数は26年度と比べ若干減少したものの、平成25年度から来場者数は、3年連続で4万5千人を超える結果となり一定の成果をあげている。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
▼企画展は、一部の事業においてコンビニエンスストアで前売入場券を委託販売することで、来場者数の増加とともに、来場者に対する利便性の向上を図る。	▼展覧会（企画展）を4事業開催し、効率的な広報活動に努め来場者数の増加とともに、市民の美術文化に対する意識の高揚を図る。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
企画展は、「生誕130年記念 藤田嗣治展 - 東と西を結ぶ絵画-」においてコンビニエンスストアで前売入場券を委託販売することで、来場者に対する利便性の向上を図った。その結果、平成27年度の入場者数を上回った。	当初の計画どおり実施できた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
企画展は、秋の大型展覧会においてコンビニエンスストアで前売入場券を委託販売することで、入場者数の増加を図るとともに、利用者に対する利便性の向上を図る。	▼展覧会（企画展）を4事業開催し、効率的な広報活動に努め入場者数の増加とともに、市民の美術文化に対する意識の高揚を図る。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	企画展展覧会における平成28年度の入場者は平成27年度を大幅に上回り、順調に推移している。当事業を継続的に実施する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
企画展入場者数	45,521	計画 当初値	45,000	45,500	46,000	47,000	47,000	平成28年度は、「生誕130年記念 藤田嗣治展 - 東と西を結ぶ絵画-」の開催をはじめ、入場者数は順調に推移した。
		計画 補正值	45,000	45,500	46,000	47,000	-	
	実績	66,774	45,274	71,014	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	69,656,000	117,087,000	81,669,000	91,167,000	95,725,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	17,800,000	68,165,000	22,663,000	31,062,000	27,773,000	0
一般財源	51,856,000	48,922,000	59,006,000	60,105,000	67,952,000	0
予算現額	69,834,000	118,903,000	81,669,000	91,167,000	0	0
決算額	67,910,614	116,993,900	79,749,510	88,954,425	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	1,500,000	1,000,000	1,500,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	27,199,670	66,442,380	22,605,210	38,948,660	0	0
一般財源	40,710,944	49,051,520	56,144,300	48,505,765	0	0
執行率	97.2%	98.4%	97.6%	97.6%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	4.49	4.69	4.30	3.90		
職員人件費	35,885,732	35,708,511	33,502,345	30,390,762		
嘱託員数	0.6	0.6	0.5	0.5		
嘱託員人件費	1,942,846	2,010,434	1,634,742	1,608,829		
(間接経費)						
間接経費	3,174,150	3,205,032	3,269,555	3,117,426		
総コスト	108,913,343	157,917,877	118,156,151	124,071,441	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
展覧会は、学芸員が一から研究企画している。平成18年の日本経済新聞による全国公立美術館実力調査では、中規模館ながら、企画力では全国で4位となった。 全国美術館会議等への参加の機会などにより、近隣をはじめ全国の美術館との幅広い交流を図り、情報交流や調査、研究、作品の賃貸、共同展覧会の開催を図った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
入館者を増やす努力とともに、幅広い年齢層の方々に気軽に来ていただく工夫を行う。 また、市民要望の強い、誰もが知っている作品展覧会を、少なくとも年1回は企画できるよう努める。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	30	1608000	展覧会事業費	71,887,000	69,674,425	81,685,000
2	01	50	30	30	1623150	負担金 藤田嗣治展	19,280,000	19,280,000	
3	01	50	30	30	1623160	負担金 フィンランドデザイン展			14,040,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							91,167,000	88,954,425	95,725,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館常設展等運営事業			事務事業コード	30470900
概要	所蔵品展及び常設展の開催				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 美術館
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市美術館条例				
市関連事業					
対象	市民、所蔵品				
実施の背景	心の安らぎと希望の持てる空間を市民が求める中、府中市美術館独自の地域美術と所蔵品を調査研究して常設展示し、また様々な教育普及事業を開催して、市民のニーズに答える必要がある。				
事業目標	所蔵品の維持管理及び所蔵品展の開催。教育普及事業の開催。				
事業内容	<p>優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会う場所と機会を提供する。 様々な教育普及事業を開催して、創作、鑑賞、学習など市民の様々なニーズに答える。 美術図書室を充実させ、画集、美術書を市民が安らぎを持って楽しめる空間を提供する。 美術品を購入する際や美術品の寄附の申出があった際には、有識者6名により構成する府中市美術品収集選定委員会において、その購入や寄附の受入を審議している。</p>				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼所蔵品展では、夏休み子ども美術館として「ばれたんリゾート」を38日開催し、12,826人が来場した。 ▼常設展は259日開催し59,975人が来場した。 ▼美術図書を304冊購入し、美術図書室の充実を図り利用者の利便性の向上に努めた。 ▼教育普及事業では、公開制作、美術鑑賞教室等を実施した。	▼所蔵品展では、26年度と比べ開催日数が減少したにもかかわらず、来場者数の方は上回り、一定の成果があったものと評価できる。 ▼常設展では、26年度に比べ開催日数、来場者数ともに上回り、一定の成果があったものと評価できる。 ▼美術作品は購入が5点、寄贈が73点あり評価できる。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
▼美術作品5点の購入と73点の寄贈を受けた。これらを有効活用することに加え創意工夫をこらしながら、常設展の入場者数増加を目指す。 ▼教育普及事業では、土曜日を中心に行うワークショップシリーズのアートスタジオをはじめ、公開制作及び、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室などの事業を開催し参加者数の増加を目指す。	常設展、教育普及事業を通し、全市民の美術文化に対する知識を高めるとともに意識の高揚を図る。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼美術作品54点の寄贈を受けた。これらを有効活用することに加え創意工夫をこらしながら、常設展の入場者数は、82,430人を数えた。 ▼教育普及事業では、土曜日を中心に行うワークショップシリーズのアートスタジオをはじめ、公開制作及び、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室などの事業を計292回開催し参加者数は75,434人を数えた。	当初の計画どおり実施できた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
美術作品54点の寄贈を受けた。これらを有効活用することに加え創意工夫をこらしながら、常設展の入場者数増加を目指す。 ▼教育普及事業では、土曜日を中心に行うワークショップシリーズのアートスタジオをはじめ、公開制作及び、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室などの事業を開催し参加者数の増加を目指す。	常設展、教育普及事業を通し、市民の美術文化に対する知識を高めるとともに意識の高揚を図る。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	平成28年度の教育普及事業、常設展観覧者数は、ともに平成27年度実績を上回り順調に推移している。当面は現状のまま継続的に実施する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
入場者数	56,015	計画 当初値	56,000	56,500	56,800	57,000	常設展の入場者数が増えている。 美術普及事業の参加者も高い水準 を維持している。
		計画 補正值	56,000	56,500	56,800	57,000	
	実績	78,894	59,975	82,430	-	-	
美術普及事業参加者数	58,221	計画 当初値	59,000	59,400	59,700	60,000	
		計画 補正值	59,000	56,500	59,800	57,000	
	実績	63,626	57,342	75,434	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	31,246,000	34,739,000	39,646,000	36,185,000	32,493,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	9,307,000	1,635,000	1,894,000	2,096,000	2,450,000	0
一般財源	21,939,000	33,104,000	37,752,000	34,089,000	30,043,000	0
予算現額	31,068,000	34,371,000	39,649,000	36,185,000	0	0
決算額	28,699,581	33,211,278	37,258,979	33,376,168	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,611,569	1,787,444	1,869,127	4,099,471	0	0
一般財源	27,088,012	31,423,834	35,389,852	29,276,697	0	0
執行率	92.4%	96.6%	94.0%	92.2%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.10	1.10	3.10	2.80		
職員人件費	8,791,605	8,375,131	24,152,853	21,819,008		
嘱託員数	0.1	0.1	0.3	0.3		
嘱託員人件費	323,808	335,072	980,845	965,297		
(間接経費)						
間接経費	748,326	727,039	2,315,933	2,196,367		
総コスト	38,563,320	42,648,520	64,708,610	58,356,841	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>今まで収集してきた作品の保存・管理を行い、「生活と美術」の基本テーマのもと、常設展はテーマを設け年間4～6回展示替えを行うとともに、所蔵品展として夏休みにあわせて「とことん夏のびじゅつ（じ）かん」など、子どもたちが美術に楽しめる工夫をした展覧会を開催した。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>収集作品の充実による常設展について、市内高齢者が元気に外へ出て行く場所としての啓発を行う。子どもを対象とした展覧会は、親子を対象とするなど観覧者の増に工夫する必要がある。 展覧会及び関連事業の充実を図り、新成人や高齢者など、あらゆる年代への啓発を行い、市民ニーズの変化に対応した企画を開催し、広報に工夫するなどして、入館者の増に努める。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	30	1607500	美術品収集選定委員会運営費	123,000	82,900	123,000
2	01	50	30	30	1609000	美術普及事業費	5,366,000	4,846,619	5,004,000
3	01	50	30	30	1610000	所蔵品展示管理費	29,044,000	26,798,853	25,813,000
4	01	50	30	30	1613000	図書資料等購入費	1,434,000	1,432,796	1,335,000
5	01	50	30	30	1617000	負担金 全国美術館会議	33,000	30,000	33,000
6	01	50	30	30	1618000	負担金 日本博物館協会	35,000	35,000	35,000
7	01	50	30	30	1619000	負担金 東京の美術館・博物館等共通入館事業費	150,000	150,000	150,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							36,185,000	33,376,168	32,493,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	歴史文化財保存活用事業			事務事業コード	30480100
概要	市内文化財の保存及び活用				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和31年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業	武蔵国府跡保存活用事業・馬場大門ケヤキ並木保護対策事業				
対象	府中市内の文化財				
実施の背景	武蔵国府を中心とする、府中の歴史・文化の情報発信拠点施設として、国府資料展示室の公開、公文書史料室の展示公開事業を実施した。このほかでは、市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存整備を行い、平和展での展示事業も実施していく。				
事業目標	貴重な文化遺産を後世へと伝えていくために、適切に保存・整備・活用し、調査・研究の成果に基づいて様々な形で広く紹介し、「歴史と伝統あるまち・府中」への郷土愛を高めるていく。				
事業内容	国史跡武蔵府中熊野神社古墳、国史跡武蔵国府跡（国衙地区・国司館地区）、馬場大門ケヤキ並木など、他市には無い全国的にも優れた歴史文化遺産を保存し、広く活用するため、市民とともに積極的に保護に取り組んでいく体制や組織を構築する。また、これらの歴史文化遺産を有機的に結びつけることによって、点から線、さらに面として広く活用していく。 また、市内の歴史・文化を研究する市民団体である史談会に対し、運営費の一部を補助することで運営を支援する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<input type="radio"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="radio"/> 文化財の標識を修理した <input type="radio"/> 市内の古墳についてのパンフレットを作成した <input type="radio"/> 多摩郷土史フェアに出店	<input type="checkbox"/> 新規・レベルアップ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	文化財保護審議会の運営では近年、安全対策と保護の両立が難しいケヤキ並木について多くの時間を割いている。また、国司館地区の整備についても様々な検討を行った。市内の文化財については市内移動時による確認で対応をしている。文化財の保存・維持に必要な修繕や補修といった作業が十分行われていない。



新規・レベルアップ 継続 見直し 廃止 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<input type="radio"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="radio"/> 文化財の維持・管理 <input type="radio"/> 多摩郷土史フェアに出店	昨年度に引き続き、文化財の維持・管理をする。文化財保護審議会の運営では、文化財指定候補を調査し、貴重と考えられるものは、新文化財の指定を行っていききたい。多摩郷土史フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布していききたい。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<input type="radio"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="radio"/> 文化財の維持・管理 <input type="radio"/> 多摩郷土史フェアに出店	<input type="checkbox"/> 新規・レベルアップ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	文化財の維持・管理をした。多摩郷土史フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布した。市指定文化財の説明板が古くなったため、1か所取り替えた。



新規・レベルアップ 継続 見直し 廃止 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<input type="radio"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="radio"/> 文化財の維持・管理 <input type="radio"/> 多摩郷土史フェアに出店 <input type="radio"/> 川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業の実施	昨年度に引き続き、文化財の維持・管理をする。文化財保護審議会の運営では、文化財指定候補を調査し、新文化財の指定を行っていききたい。多摩郷土史フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布していききたい。郷土ゆかりの人物をとおして、市民の郷土意識を高め、誇りと愛着あるまちづくりを推進していく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	文化財保護審議会と連携をとり府中市にふさわしい文化財のあり方や活用を検討していくことが重要である。既存の文化財や未確認のものを含め効率よく保存・活用を検討し実施していききたい。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがなされないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績	実績	-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	5,767,000	5,831,000	5,771,000	5,852,000	15,577,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	5,000	30,000	30,000	23,000	10,000	0
一般財源	5,762,000	5,801,000	5,741,000	5,829,000	15,567,000	0
予算現額	5,774,000	5,753,000	5,771,000	5,626,000	0	0
決算額	4,819,991	5,059,933	4,942,578	5,295,706	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	32,800	23,700	14,300	5,100	0	0
一般財源	4,787,191	5,036,233	4,928,278	5,290,606	0	0
執行率	83.5%	88.0%	85.6%	94.1%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.40	2.30	1.70	1.20		
職員人件費	19,181,683	17,511,637	13,245,113	9,351,004		
嘱託員数	0.3	0.3	0.9	1.3		
嘱託員人件費	971,423	1,005,217	2,942,535	4,182,954		
(間接経費)						
間接経費	123,177	157,465	176,363	139,340		
総コスト	25,096,274	23,734,251	21,306,589	18,969,004	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市では、昭和31年の「文化財保護条例」制定後、平成19年には同条例を全部改正した「文化財の保存及び活用に関する条例」を制定し、平成26年3月末現在、国指定文化財9件、国登録有形文化財1件、国選択記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財1件、文部科学省認定重要美術品4件、都指定文化財17件、市指定文化財42件、市登録文化財1件の計75件を保存・活用してきた。この中には、平成17年度の「武蔵府中熊野神社古墳」（国史跡）、平成21年度の「武蔵国府跡（国衙地区）」（国史跡）・「武蔵府中くらやみ祭」（都無形民俗文化財）、平成22年度の古代国司館の「国史跡武蔵国府跡」の追加、平成25年度の「大國魂神社の木造獅子頭一對」（市有形民俗文化財）・「武蔵台遺跡23号住居跡出土品」（都指定有形文化財・考古資料）、平成26年度の大國魂神社東照宮本殿（市有形文化財・建造物）の文化財指定などがあり、大きな成果をあげている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> これまで以上にハードの整備に加え、ソフト面での文化財の活用をいかに図っていくかが大きな課題であるとともに、市内の貴重な文化財のより一層の保存が必要となっている。 文化財保護審議会委員とも連携し、市内の貴重な文化財の指定を含めた保存と活用を図ってきたい。また、平成23年2月に国の追加指定史跡となった「武蔵国府跡国司館地区」の保存・活用、ケヤキ並木の保護には、特に積極的な取り組みを行っていく必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1521500	文化財保護審議会運営費	1,334,000	1,320,000	1,334,000
2	01	50	30	10	1521800	川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業費			9,888,000
3	01	50	30	10	1523000	文化財保護振興費	2,258,000	1,807,483	2,173,000
4	01	50	30	10	1529000	武蔵国府等展示活用事業費	2,136,000	2,044,223	2,058,000
5	01	50	30	10	1543000	負担金 東京都市多摩郷土誌フェア	15,000	15,000	15,000
6	01	50	30	10	1546000	負担金 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	45,000	45,000	45,000
7	01	50	30	10	1548000	補助金 史談会活動事業費	64,000	64,000	64,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,852,000	5,295,706	15,577,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	埋蔵文化財保存活用事業			事務事業コード	30480200
概要	市内の地下に保存されてきた埋蔵文化財（遺跡）の保護・活用				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和50年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法・東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業					
対象	市内の埋蔵文化財				
実施の背景	開発により遺跡が破壊される話があり記録保存を行う必要が出てきた。				
事業目標	開発による破壊される遺構の記録保存及び重要遺跡の保護と保存及び活用				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ▼開発による破壊される遺跡の記録保存を行うため、文化財保護法に基づき指定された範囲で住宅を建てる場合に、市が遺跡調査会に委託して緊急発掘調査を実施する。 ▼国府等の重要遺跡の保存と活用を行う。 ▼発掘調査成果をデジタル化し、活用しやすい状態にすることで、利用の範囲が広がることから、このデジタル化を進めるとともに、これらを公開・活用して積極的に発信することにより、市民の文化財保護に対する関心を高める。 				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査・保存目的確認調査・調査報告書の作成・再整理：刊行済みの報告書のデータ化、データベース化、フィルム類のデジタル化・埋蔵文化財情報データベースシステムの更新・遺物の保存処理・40年に及ぶ組織的な遺跡調査成果を記念事業として、連続講座、市内遺跡めぐり、特別展示会、特別講演会を実施した・埋蔵文化財整理事務所の機能の見直し、収蔵効率を上げるための倉庫整理などを含めた管理を行った 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者負担の緊急発掘調査が増え、特に日程などで円滑に進められるように見直しが必要である・保存目的確認調査では熊野神社古墳の1段目の墳丘が確認できた・埋蔵文化財を広く市民に伝えるための一連の催しは好評で、特に記念講演会では多くの参加者があり、アンケートも多数回収でき発掘調査の必要性を多くの方に理解いただいた 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査・保存目的確認調査・調査報告書の作成・再整理：刊行済みの報告書のデータ化、データベース化、フィルム類のデジタル化・埋蔵文化財情報データベースシステムの更新・遺物の保存処理・埋蔵文化財を広く市民に伝えるための冊子の作成・埋蔵文化財整理事務所の整理、管理 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査のより円滑な実施ができるよう様々な方向から検討を行う・保存目的確認調査、調査報告書の作成、データベース化などを推進すると共に、その活用場をさらに広げる検討を行う・埋蔵文化財整理事務所の効率的な活用についても検討を行う 	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査・保存目的確認調査・調査報告書の作成・整理作業・再整理：刊行済みの報告書のデジタル化・埋蔵文化財情報データベースシステムの更新・遺物の保存処理・遺跡地図の発行などを行った 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者負担の緊急調査は減少しなかったが、期間の短縮など、円滑な実施に努めた。 埋蔵文化財情報データベースシステムの更新については、利用者からも更新の要望が強くあり、今後も追加データの入力が必要となっている。 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査・保存目的確認調査・調査報告書の作成・整理作業・再整理：刊行済みの報告書のデジタル化・埋蔵文化財情報データベースシステムの更新・遺物の保存処理などを行う 発掘資料を展示する機会を増やし、埋蔵文化財への理解を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 府中市の貴重な歴史資料となる埋蔵文化財発掘調査の適切な実施及び保管・管理を適切に行っていく。 発掘資料の公開・活用については、様々なイベントを利用して、より積極的に実施し、市民への理解を高めていく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	府中市における埋蔵文化財発掘調査や保存目的確認調査は、府中市の歴史を解明するうえでの主力の事業であり、調査の必要な範囲を網羅することが不可欠な条件である。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
発掘調査現場見学会の参加者数	100	計画値 当初値	120	140	160	180	200	今年度の発掘調査現場見学会は2回実施し、天候的な点では問題がなかったが、参加人数は予想よりも少なめであった。これは冬期に行ったためと考えられる。あらかじめ学校などに案内を送るなど出れば、参加数も多くなったと思われるが、準備期間が短く学校への案内はなかなか難しい。子ども発掘調査体験は例年通り好評であった。
		計画値 補正值	-	-	-	-		
	実績	194	133	117	-	-		
発掘調査成果のデジタル化の進捗状況	70	計画値 当初値	80	90	100	-	100	
		計画値 補正值	-	-	-	-		
	実績	80	90	95	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	66,613,000	66,922,000	66,193,000	65,568,000	63,267,000	0
国庫支出金	23,750,000	23,750,000	23,750,000	23,250,000	18,640,000	0
都支出金	10,250,000	10,250,000	10,000,000	10,000,000	8,000,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	32,613,000	32,922,000	32,443,000	32,318,000	36,627,000	0
予算現額	66,613,000	66,742,000	66,163,000	65,582,000	0	0
決算額	64,715,350	62,023,436	52,408,312	55,725,562	0	0
国庫支出金	23,250,000	21,617,000	17,189,000	18,475,000	0	0
都支出金	10,000,000	9,193,000	6,750,000	8,100,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	31,465,350	31,213,436	28,469,312	29,150,562	0	0
執行率	97.2%	92.9%	79.2%	85.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.80	2.80	2.30	2.80		
職員人件費	22,378,630	21,318,514	17,919,859	21,819,008		
嘱託員数	1.6	1.6	2.3	2.3		
嘱託員人件費	5,180,923	5,361,157	7,519,811	7,400,611		
(間接経費)						
間接経費	200,736	266,482	312,027	284,254		
総コスト	92,475,640	88,969,589	78,160,009	85,229,436	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
昭和50年の文化財保護法一部改正に伴い、府中市遺跡調査会を発足して以降現在まで市内の埋蔵文化財包蔵地で1,600箇所を超える発掘調査を実施してきた。これはひとへに市民の理解と協力によるもので、全国60余り置かれた国府の中でも、本市の武蔵国府跡は、最も国府域の実態が明らかになっている国府跡として、平成21年7月に国史跡指定を受け、平成23年2月にはJR府中本町駅前の地区が国府跡に追加指定を受けた。さらに、国府域内部の様相が解明されてきたことも、他の国府跡にはない特質すべき状況である。平成28年度は国府八幡宮境内の保存目的の確認調査の2回目を実施した。また、新庁舎発掘現場で発掘体験を実施した。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市民の協力によって実施してきた埋蔵文化財発掘調査の成果をいかに市民に還元するか、過去の発掘成果を公にする調査報告書の早期刊行、原因者に負担を求めている発掘調査費の軽減などが課題である。発掘調査成果の市民への還元は、フォーリスを会場とする「発掘お宝展」やふるさと府中歴史館展示室を会場とした公開、長年の発掘調査成果を公にした調査報告書の早期刊行、市民向けのパンフレットの発行などによって進めていく。発掘調査の体制やあり方については、社会的な環境の激変に対応できるよう、埋蔵文化財整理事務所のあり方などの見直しを含めて検討していくことが必要である。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1524000	埋蔵文化財発掘調査費	63,355,000	53,691,752	61,192,000
2	01	50	30	10	1540000	埋蔵文化財整理事務所管理費 管理委託料	692,000	702,348	692,000
3	01	50	30	10	1541000	埋蔵文化財整理事務所管理費 光熱水費及び燃料費	913,000	807,043	827,000
4	01	50	30	10	1542000	埋蔵文化財整理事務所管理費 諸経費	608,000	524,419	556,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							65,568,000	55,725,562	63,267,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	武蔵国府跡保存活用事業			事務事業コード	30480300
概要	国史跡武蔵国府跡の保存・活用				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和50年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業	埋蔵文化財保存活用事業				
対象	国史跡武蔵国府跡（国衙地区・国司館地区）				
実施の背景	国史跡武蔵国府跡は、昭和50年から40年に及ぶ発掘調査によって、国内で最も国府域の具体的な様相が明らかになっている。				
事業目標	国史跡武蔵国府跡を将来に亘って適切に保存し、市民と協働で広く活用を図っていく。				
事業内容	<p>大國魂神社の東に武蔵国の国衙があったことが調査により判明し、また、府中本町駅に隣接する地域では、国司館が建っていたことが調査によりわかっている。</p> <p>これらを適切に保存・活用するため、国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討協議会を立ち上げ、学識経験者・関係団体代表・市民代表らの意見を取り入れながら、国史跡武蔵国府跡保存管理計画を策定し、本史跡を将来に亘って保存し、確実に次世代へと継承していく。国史跡武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立をめざし、設計・施工を進めていく。</p> <p>また、史跡の歴史的価値を広く内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。</p>				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議の開催（2回） <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議作業部会の開催（1回） <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期）実施設計 <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国衙地区）土系舗装等改修工事	<input checked="" type="checkbox"/> 文化庁・東京都の指導助言のもと、検討会議・作業部会で検討するとともに、庁内の関係部署や外部の関係団体と調整を進めながら、国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期）の実施設計を行った。 <input type="checkbox"/> また、国史跡武蔵国府跡（国衙地区）の、劣化の激しい土系舗装等の改修工事を実施し、史跡の適切な保存と活用に努めた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議の運営 <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議作業部会の運営 <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期） <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）賑わい拠点整備市場調査	<input type="checkbox"/> 文化庁・東京都の指導助言のもと、検討会議・作業部会で検討するとともに、庁内の関係部署や外部の関係団体と調整を進めながら、国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期）に着手する。 <input type="checkbox"/> また、第2期工事分である国司館地区賑わい創出ゾーンについて、JR府中本町駅前にふさわしい賑わいと魅力ある空間の創出を目指して、民間活力の導入に向けた市場調査等を行う。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期） <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）賑わい拠点整備市場調査	<input checked="" type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期）に着手し、造成工事及び擁壁工事等を行った。 <input type="checkbox"/> また、第2期工事分である国司館地区賑わい創出ゾーンについて、JR府中本町駅前にふさわしい賑わいと魅力ある空間の創出を目指して、民間活力の導入に向けた市場調査等を行った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議の運営 <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議作業部会の運営 <input type="checkbox"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期その2）	<input type="checkbox"/> 文化庁・東京都の指導助言のもと、市場調査の結果について、検討会議・作業部会で検討するとともに、庁内の関係部署や外部の関係団体と調整を進めながら、国司館地区賑わい創出ゾーンにおける民間活力の導入方法を検討する。 <input type="checkbox"/> また、古代の空間再現ゾーン及び国衙地区（大國魂神社）連携ゾーンについて国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期その2）を行う。

平成30年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続		国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備事業のこれまでの経緯を踏まえながら、保存活用整備工事を適切に実施するとともに、全国でここにしかない貴重な史跡として、その魅力と価値を市内外に発信し、市民と協働で広く活用を進めていく。	
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能		A
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	8,298,000	6,706,000	48,128,000	111,692,000	342,964,000	0
国庫支出金	3,885,000	0	23,800,000	51,870,000	171,350,000	0
都支出金	1,942,000	0	11,900,000	25,935,000	85,675,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,471,000	6,706,000	12,428,000	33,887,000	85,939,000	0
予算現額	8,298,000	6,706,000	23,970,000	88,793,000	0	0
決算額	7,345,500	6,375,600	22,878,000	58,842,053	0	0
国庫支出金	3,491,000	0	11,340,000	22,664,000	0	0
都支出金	2,805,000	3,080,000	8,500,000	23,365,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,049,500	3,295,600	3,038,000	12,813,053	0	0
執行率	88.5%	95.1%	95.4%	66.3%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.90	0.90	0.60	1.20		
職員人件費	7,193,131	6,852,379	4,674,746	9,351,004		
嘱託員数	0	0	0.1	0.1		
嘱託員人件費	0	0	326,948	321,766		
(間接経費)						
間接経費	41,059	54,507	47,482	72,456		
総コスト	14,579,690	13,282,487	27,927,176	68,587,278	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>武蔵国府跡は、昭和50年の府中市遺跡調査会発足以後、市民や事業主の理解と協力によって40年近くに及ぶ発掘調査を継続してきた結果、大國魂神社境内地及びその東側に国衙跡が所在していたことが確定し、平成21年7月に国史跡の指定を受けた。(国衙地区) また、平成20年～22年にかけてJR府中本町駅前で行われた発掘調査において、初期の国司館跡と推定される大型建物群が発掘され、平成23年2月に国史跡の追加指定を受けた。(国司館地区)</p> <p>国司館地区については、平成23年度に市民主体の懇談会からの提言、平成24年度に保存整備活用基本計画の策定、平成25年度に武蔵国府跡全体の保存管理計画の策定、平成26年度に基本設計、平成27年度に第1期工事分の実施設計を行い、平成28年度に工事に着手した。</p>
今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)
<p>これまでの経過を踏まえた上で、第1期工事を着実に実施するとともに、第2期工事分については史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指して、28年度に行った民間市場調査をもとに、29年度には、検討会議・作業部会での検討を行い民間活力の導入の検討を進めていく。</p> <p>また、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信しながら、年間を通じて多くの人々が集う場所としての幅広い活用の手法について、地元市民と協働で検討を行い、実施していく。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1519800	武蔵国府跡保存整備活用検討会議運営費	528,000	0	264,000
2	01	50	30	10	1557700	武蔵国府跡整備事業費 設計委託料	0	5,218,560	
3	01	50	30	10	1557800	武蔵国府跡保存整備活用事業費	7,424,000	7,400,573	
4	01	50	30	10	1557900	武蔵国府跡整備事業費 国司館地区保存整備工事費	100,000,000	43,134,120	260,000,000
5	01	50	30	10	1557910	武蔵国府跡整備事業費 諸経費			74,000,000
6	01	50	30	10	1557950	武蔵国府跡整備事業費 監理委託料	3,740,000	3,088,800	8,700,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							111,692,000	58,842,053	342,964,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	文化財整備事業			事務事業コード	30480400
概要	市内文化財の保存及び活用を図るために、整備工事を実施する。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業					
対象	市内の文化財				
実施の背景	所有者、近隣住民、学識経験者と協議しながら、適切な整備工事を計画的に実施				
事業目標	市内文化財の保存及び活用を行うことにより、より多くの市民に貴重な歴史・文化遺産への関心を持っていただき、ふるさと府中への郷土愛を高める。				
事業内容	武蔵国府跡除く市内の文化財で武蔵府中熊野神社古墳、白糸台掩体壕など保存整備が完了したものについては、今後保存・活用を図る。また、今後整備が必要なものを抽出し、保存・活用することによって、ふるさと府中への郷土愛を高めることを図る。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼全国史跡整備市町村協議会、関東史跡整備市町村協議会の総会や東京都文化財保存協議会へ参加した ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの維持管理 ▼武蔵国分寺跡参道口跡の案内版の修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ▼全国的な史跡整備の情報収集ができた ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳の適正な管理ができた 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼全国史跡整備市町村協議会、関東史跡整備市町村協議会の総会や東京都文化財保存協議会への参加予定 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの維持管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の基本設計の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▼引き続き全国的な史跡整備の情報収集を行う ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳の適正な保存・管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施にあたり基本設計を行う



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼全国史跡整備市町村協議会、関東史跡整備市町村協議会の総会や東京都文化財保存協議会への参加予定 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの維持管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施設計の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▼引き続き全国的な史跡整備の情報収集を行う ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳の適正な保存・管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施設計を行う

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	国史跡の保存や活用のための最新情報を得るためにも、全国史跡整備市町村協議会及び関東地区史跡整備市町村協議会、東京都区市町村文化財保存整備協議会への参加が必要である。白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの適切な維持管理に努める。また、文化財に関する専門の職員による体制の維持が必要である。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない		
2 見直しには法令等の改正が必須		
3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	50,000	50,000	7,567,000	1,360,000	5,500,000	0
国庫支出金	0	0	3,750,000	0	0	0
都支出金	0	0	1,875,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	50,000	50,000	1,942,000	1,360,000	5,500,000	0
予算現額	50,000	50,000	7,567,000	1,370,000	0	0
決算額	50,000	50,000	7,194,000	1,366,000	0	0
国庫支出金	0	0	3,564,000	0	0	0
都支出金	0	0	2,672,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	50,000	50,000	958,000	1,366,000	0	0
執行率	100.0%	100.0%	95.1%	99.7%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.00	0.90	0.40	0.40		
職員人件費	7,992,368	6,852,379	3,116,497	3,117,001		
嘱託員数	0.8	0.8	0	0		
嘱託員人件費	2,590,462	2,680,578	0	0		
(間接経費)						
間接経費	82,118	102,957	27,132	22,294		
総コスト	10,714,948	9,685,915	10,337,629	4,505,295	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・国史跡武蔵府中熊野神社古墳保存整備：平成20年から本格的な保存整備事業を開始し、土地所有者（熊野神社）等関係者と協議して事業を進めた。国内最大・最古の上円下方墳で、東日本では初めての上円下方墳の整備事業として、市内外から注目され、平成21年度に復元整備を完了した。 ・市史跡御嶽塚保存整備：JR西府駅開業にあわせて、御嶽塚公園の一角にふさわしい整備を行った。 ・市史跡旧日本陸軍調布飛行場白糸台掩体壕保存整備：平成21年度に掩体壕の保存を目的とした改修工事を行い、平成23年度に保存整備事業を竣工し、毎年11月3日に特別公開を実施している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<p>国史跡武蔵府中熊野神社古墳は、今後、古墳西側の公有地化を行い、平成29年度に武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施設計を行う。本古墳については地元保存会と協働で活用をしているが、今後いかに効率的な事業を進め活用を図るかが課題である。また、市史跡旧白糸台掩体壕も保存整備は完了したが、今後のさらなる活用・維持が課題である。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1545000	負担金 全国史跡整備市町村協議会	60,000	70,000	70,000
2	01	50	30	10	1555000	文化財整備事業費 設計委託料	1,300,000	1,296,000	5,430,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							1,360,000	1,366,000	5,500,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	ふるさと府中歴史館管理運営事業			事務事業コード	30480500
概要	「ふるさと府中歴史館」として管理・運営する。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成23年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財保護条例、府中市文化財及び保存に関する条例				
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	ふるさと府中歴史館				
実施の背景	市の名の由来となった「武蔵国府」が置かれた場所付近に案内施設の要望があり、廃止となった旧中央図書館をリニューアルして、武蔵国府に関する情報発信等や歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行うことを目的とした。				
事業目標	武蔵国府に関する情報発信等の施設として、歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行い、市内外の多くの方に観ていただき理解をいただく。				
事業内容	1, 300年前に武蔵国府の中核施設である国衙が置かれた場所にあることを踏まえ、武蔵国府に関する情報発信等の施設として、歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行う。 また、古代国府を中心とした市の歴史や文化について、市民に発信し、関心を寄せられるよう、特別展や講座などを開催する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼館の管理運営 ▼歴史的文書資料の選別・収集・整理 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展を開催し4,212人入場 ▼夏休み子ども向け発掘特別展を開催し14,750人入場 ▼歴史講座「発掘調査40年から見た府中の歴史」を7回開催し94人参加 ▼府中の発掘お宝展2015「府中市発掘40年お宝40選」を開催し22,846人入場 	<p>館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理を実施するとともに、文化財情報データベースシステムを引続き運用し実施した。</p> <p>また、特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け発掘展の開催をはじめ、文化財発掘調査の研究成果による企画展示、ふるさと府中歴史講座やオリンピック等話題のテーマを取り入れた創意工夫による事業企画を展開し、入場者増に反映した。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展の開催 ▼夏休み子ども向け特別展の開催 ▼市史編さん歴史講座などの実施 	<p>ふるさと府中歴史館の管理運営のほか歴史的文書資料の収集、整理及び保存を継続する。</p> <p>文化財情報データベースシステムを引続き運用する。</p> <p>特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる文化財発掘調査における研究成果の企画展示、市史編さんによる歴史講座などを開催する。</p>

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼館の管理運営 ▼歴史的文書資料の選別・収集・整理 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展を開催し、5,120人入場 ▼夏休み子ども向け発掘特別展を開催し、10,863人入場 ▼府中の発掘お宝展2016を開催し、24,129人入場 	<p>館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理を実施するとともに、文化財情報データベースシステムを引続き運用し実施した。</p> <p>また、特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け発掘展の開催をはじめ、文化財発掘調査の研究成果による企画展示や、オリンピック等の話題のテーマを取り入れた創意工夫による事業企画を展開し、市の歴史の解明や市民への文化の発信に努めた。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展の開催 ▼夏休み子ども向け特別展の開催 ▼市史編さん歴史講座などの実施 	<p>ふるさと府中歴史館の管理運営のほか歴史的文書資料の収集、整理及び保存を継続する。</p> <p>文化財情報データベースシステムを引続き運用する。</p> <p>特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示、市史編さんによる歴史講座などを開催する。</p>

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示をはじめ、くらやみ祭などのイベントに合わせた展示を行う。来館のきっかけとなる解りやすい展示や講座の開催、その年における話題のトレンドをテーマに取り入れた展示など、創意工夫による様々な事業企画に努め、来館者増を図る。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
「ふるさと府中歴史館」入館者数	55,511	計画値 当初値	58,300	61,200	64,300	67,500	歴史ある府中を知っていただくために、魅力ある企画展示や講座の開催をはじめ、「府中ぐるっとスタンプラリー」や「市民文化の日」等他機関との協働による事業に参加し、ふるさと府中歴史館の入館者数は、28年度は指標をやや下回っているが、年々増加傾向にある。
		計画値 補正值	-	90,000	90,000	90,000	
	実績	57,306	92,360	88,962	-	-	
-	-	計画値 当初値	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	27,420,000	28,674,000	28,634,000	26,584,000	25,006,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	27,420,000	28,674,000	28,634,000	26,584,000	25,006,000	0
予算現額	26,348,000	29,132,000	25,107,000	26,800,000	0	0
決算額	22,223,877	27,056,745	23,112,791	22,963,489	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	160,920	0	0
一般財源	22,223,877	27,056,745	23,112,791	22,802,569	0	0
執行率	84.3%	92.9%	92.1%	85.7%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.05	2.30	1.80	1.20		
職員人件費	24,376,722	17,511,637	14,024,237	9,351,004		
嘱託員数	0	0	0.5	1.1		
嘱託員人件費	0	0	1,634,742	3,539,423		
(間接経費)						
間接経費	139,145	139,295	156,013	128,193		
総コスト	46,739,744	44,707,677	38,927,783	35,982,108	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>ふるさと府中歴史館の整備は、平成20年度に建築工事と展示工事の実施設計を行い、全体計画を取りまとめた。建物内の配置は、機能や利便性に配慮し、1階を「国府メモリアルホール」、「万葉集の世界」及び「くらやみ祭紹介コーナー」に、2階を「宮町図書館」及び「公文書史料室・公文書史料展示室・国府資料室」に、3階を「事務室」として整備した。</p> <p>平成21年度からは耐震改修工事、各種設備工事及び「国府資料室」の展示工事を進め、平成23年4月に開館したものである。</p> <p>開館直後から、1・2階のコーナー利用以外に来館を促す様々な企画展示や講座の開催に努めてきた。</p>
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見も伺いながら府中市の歴史や文化を紹介し、広く市民の郷土愛を高める施設として、多くの方に来館していただく施設とする。 1階においては、くらやみ祭展や発掘された最新の遺物の展示、2階の公文書史料展示室においては、貴重な歴史史料の研究成果を公開する企画展など魅力ある展示に努めて、より多くの来館者とリピーターの確保に努める。

6 構成事業一覧

(単位：円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1540500	ふるさと府中歴史館管理運営費 管理委託料	11,683,000	10,337,976	11,248,000
2	01	50	30	10	1540510	ふるさと府中歴史館管理運営費 光熱水費	5,072,000	4,362,172	4,350,000
3	01	50	30	10	1540520	ふるさと府中歴史館管理運営費 諸経費	8,829,000	8,263,341	8,408,000
4	01	50	30	10	1554790	ふるさと府中歴史館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							26,584,000	22,963,489	25,006,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営事業			事務事業コード	30480600
概要	国史跡 武蔵府中熊野神社古墳展示館の管理、運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	平成23年度～
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり				
根拠法令等					
市関連事業					
対象	古墳見学者				
実施の背景	平成17年に熊野神社古墳が国史跡に指定され復元整備が行われた。これに伴い古墳展示館が整備された。				
事業目標	国史跡武蔵府中熊野神社古墳の見学に際して、より古墳の意義の理解を促し、府中市の歴史を学習できる場とする。さらに、地域の情報発信のできる施設として市民と協働で活用する。				
事業内容	墳丘土層標本や調査中の写真、解説パネル等を設置し、熊野神社古墳の魅力を発信するための施設として、国史跡 武蔵府中熊野神社古墳展示館の建物管理及び受付、見学者対応などを行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼インターネット環境の整備 ▼学校見学に対応できるよう古墳保存会の方のサポート体制を整えた ▼AMラジオ、FMラジオでのPRにより広域の視聴者が訪れるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ▼他団体のイベントなどに協力し、来館者の増加につなげている ▼様々なメディアやいろいろな立場の方にPRのサポートをしていただけた ▼独自のイベントをさらに増やしたい 	



新規・レベルアップ 継続 見直し 廃止 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼学校の授業の一環として利用できるよう、さらにPRと利用しやすい環境を整える ▼独自のイベントを増やす ▼インターネットでのPRをさらに進める 	<ul style="list-style-type: none"> ▼さらなる学校見学利用がしやすい環境作りを行いたい ▼インターネットでのPRの方法や見せ方などを研究し、より多くの方に周知したい



新規・レベルアップ 継続 見直し 廃止 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼学校の利用にあたっては、担当の先生が利用しやすいようにさらにサポートを充実させる ▼団体利用の事前問合せなどに柔軟に対応することで、さらに利用団体を増やす ▼インターネットで新しい視点の発信が行えるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ▼団体利用は大きな集客につながるので、決め細やかな対応ができるようにしたい ▼インターネットでのリンクやツイートなどの波及効果が見込めるような案内ができるようにしたい

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市内の学校利用も増えてきているので、さらに見学利用がしやすい環境を整備していきたい。また、展示館の記録からは、東北地方、九州地方からの見学者もみられ徐々にではあるが知名度が上がってきている。さらに、近隣からの団体、学校の利用もあることからこの点も視野に入れさらにPRしていきたい。これらは、これまでの改善で対応できることから、現状のまま継続する。
B 現状のまま継続		
C 見直しして継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
国史跡 武蔵府中熊野神社 古墳展示館 入館者数	6,000	計画 当初値	10,000	11,500	13,000	14,600	14,600	炎天、台風、積雪などの異常気象による見学に適さない天候が増えてきているが、特に団体客の見学日と雨天などが重なることが多くあり、リピート団体などが増えているも、実際の見学につながっていないところが伸び悩む原因である。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	10,481	11,745	10,138	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	8,028,000	7,316,000	7,092,000	6,843,000	7,366,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,028,000	7,316,000	7,092,000	6,843,000	7,366,000	0
予算現額	9,102,000	7,116,000	7,091,000	6,829,000	0	0
決算額	8,294,124	6,372,782	6,260,930	6,159,112	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,294,124	6,372,782	6,260,930	6,159,112	0	0
執行率	91.1%	89.6%	88.3%	90.2%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.60	0.60	0.30	0.30		
職員人件費	4,795,421	4,568,253	2,337,373	2,337,751		
嘱託員数	0.3	0.3	0.2	0.2		
嘱託員人件費	971,423	1,005,217	653,897	643,531		
(間接経費)						
間接経費	41,059	54,507	33,916	27,868		
総コスト	14,102,027	12,000,759	9,286,116	9,168,262	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>本古墳の整備事業は、平成20年度から平成23年度の4年間で古墳の整備と古墳展示館周辺整備の2本の事業として進められた。平成23年度は、最終年度として古墳展示館をオープンし、古墳展示館周辺整備、原寸大石室模型設置などを実施した。また、古墳展示館の受付業務を市民団体と協働して行うようにした。この市民団体の受付業務は好評で、古墳展示館の呼び物の一つであり、リピーターの増加にもつながっている。平成28年度は、古墳と展示館のキャラクターである「くまじい」、「おくまちゃん」がゆるキャラグランプリにエントリーし、前回より800位以上アップしたことから知名度があがってきた。古墳まつりは、近隣の参加が多く、遠方の方が少ない傾向にある。以前より、外国人来館者がみられるようになった。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>本古墳は、府中市の歴史を学ぶ上で欠かせない史跡であり、多くの子どもが見学できるようこの施設をさらに積極的に活用していきたい。これには、保存会を中心に市民と協働で積極的な活用事業を実施していく必要がある。PR方法の一つとしてインターネットの多方面での活用をさらに進めたい。また、外国人の見学も想定し見学の補助資料などの用意や、古墳まつりが天候に左右されやすいので、雨天時のプログラムの工夫が必要と考えている。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1540600	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 業務運営委託料	3,202,000	3,202,000	3,192,000
2	01	50	30	10	1540610	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 管理委託料	2,276,000	1,935,337	2,928,000
3	01	50	30	10	1540620	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 光熱水費	935,000	807,617	836,000
4	01	50	30	10	1540630	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 諸経費	430,000	214,158	410,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							6,843,000	6,159,112	7,366,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市史編さん事業			事務事業コード	30480700
概要	府中市史編さん事業				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成26年度～	見直しの裁量
根拠法令等	無				
市関連事業	無				
対象	府中市史編さん				
実施の背景	以前の市史発刊以降、研究成果の集積は著しい。また自然・民俗など大きく変化している。市史の編さんは成果の資料化を図り、未来に継承し歴史の検証を可能にさせる役割もっています。				
事業目標	平成35年度(市制施行70周年)までに市史の通史編及び資料集等の発刊を終える。				
事業内容	<p>原始から近世までにかけて、自然や民俗を含めた様々な府中市における歴史を記録した「市史」を、昭和43年及び49年に発刊しており、その後の都市の変化や考古学の分野における新たな発見を内容に加えて、新たな府中市史を発刊するため、市史編さん協議会(審議会)の策定する市史編さんの構想等に基づき、時代区分ごと等の専門部会を設置するなど、編さん体制を構築する。専門部会等では、資料の調査・分析等を行うことによって、資料集及び通史の発刊にむけて計画的に作業を進める。また、市史編さんの事業として、講演会の開催や「市史編さんだより」の発行などの広報活動を行う。</p>				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>市史編さん方針に従い、当初の計画どおり、専門部会による調査研究・資料収集計画の検討、基礎資料の収集を実施した。事業の推進にあたっては、6分野の専門部会が常に連携協力できるように配慮した。会議については府中市史編さん審議会(3回)、編集委員会(1回)、専門部会(原始・古代4回、中世4回、近世6回、近現代3回、自然6回、民俗3回の計26回)を開催。専門部会の開催では会議回数の集約、効率化を可能な限り心がけた。</p>	<p>市史編さんに関わる広汎な調査研究と資料収集を円滑かつ適正に推進するため、年度開始後に委託事業の見直しを行って府中市史調査委員会を設けた。これと併せて大学等への委託調査も実施し、編さん事業の基礎となる調査研究・資料収集を計画通り進展させることができた。また予定していた行政文書調査委託については、平成27年度は準備作業に専念したため、委託契約を28年度からの実施とすることにした。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<p>資料収集、調査研究を進展させる。平成27年度実績を基礎として分野会を除く専門部会を開催予定34回(原始古代2回、中世8回、近世6回、近現代10回、自然4回、民俗4回)、審議会3回を開催する予定。調査活動のほか市民への周知を目的として市史関連講座等講演会の開催、市史編さんだよりの充実、地域大学との協力事業、市内学校との連携事業などに取組む。</p>	<p>市史編さんの長期計画に基づいて6分野の専門部会による調査を積極的に推進し、基礎資料の充実を図る。調査にあたっては、市史調査委員会委託、大学委託を活用する。編さんには、市民・市内・大学・関係者等の協力が必要であるため、積極的な周知を図り、連携や協働を強化する。</p>	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<p>編さんのための資料収集、調査研究を進展させた。専門部会は現実に即した分野会ごとの活動も含めて、原始古代7回、中世5回、近世6回、近現代4回、民俗3回の会議・調査活動を年度内に計25回実施し、審議会は計2回開催した。市民への周知と史料調査の成果報告の一環として、近世史料調査報告会を史料ゆかりの地域で実施した。印刷物は市史編さんだよりを2回発行した。市内大学との連携・協働では、近世・近現代・自然の各分野で委託調査を実施し、調査を進展させた。</p>	<p>各分野において資料の収集、調査研究に取り組んだ。特に、近世分野では市民・市内寺社の協力をいただき、大きな成果を得ることができた。今後も信頼関係を維持しながら調査を進めていくことが大切と感じている。市史編さん全体として、市民・各種団体との連携・協働を随所に取り入れながら事業を進展することができた。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<p>各分野の資料収集、調査研究については継続して実施する。本年度は刊行物の発行を開始し、民俗分野の報告書1冊、全分野に関わる研究紀要1冊を刊行する予定。また刊行物の発行と併せて、市民に広く周知するための講演会を実施する予定である。市内大学等との連携・協働による委託調査も継続して実施する。</p>	<p>市史編さん方針で掲げた長期計画に基づいて、現在の各分野の資料収集・調査研究の進捗状況を勘案して、具体的な専門分野ごとの実施計画を固め、計画的な刊行を進められるようにしていく。</p>

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市史編さん事業では、市民・専門研究者・関係機関等の連携・協働による資料収集・調査研究を継続的に推進し、「市史編さん方針」に基づき、平成35年度までの計画期間において市史刊行物を順次発行していく。
B 現状のまま継続		
C 見直しで継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	0	502,000	19,636,000	26,859,000	36,514,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	30,000	0
一般財源	0	502,000	19,636,000	26,859,000	36,484,000	0
予算現額	0	502,000	19,636,000	26,859,000	0	0
決算額	0	453,358	12,946,337	22,660,740	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	453,358	12,946,337	22,660,740	0	0
執行率	0.0%	90.3%	65.9%	84.4%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.00	1.10	3.70	3.70		
職員人件費	0	8,375,131	28,827,599	28,832,261		
嘱託員数	0	1	3	3		
嘱託員人件費	0	3,350,723	9,808,449	9,652,971		
(間接経費)						
間接経費	0	127,183	454,480	373,435		
総コスト	0	12,306,395	52,036,865	61,519,407	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>旧市史は昭和36年～昭和49年の14年間で27冊の資料集と共に刊行した。それ以降も市史編さん事業に関する知の蓄積を叢書等で市民に発信し続けてきた。また、当時の自治体史では時代別、内容別に分割構成した編集は余り例が無く、内容からも、たいへん先駆的で優れた市史を編さんしたと評価されている。市ではその後、昭和50年に遺跡調査会を発足させ、国衙の特定や熊野神社古墳調査のほか市内1700か所の調査実績による大きな成果を得ており、全国的にも注目されている。また、郷土の森博物館では旧市史の資料継承のみならず、各種調査についてデータ蓄積を図り、長期間に及ぶ市内の情報を収集・保管してきた。平成26年度協議会で策定した「府中市史編さん方針」に基づき旧市史を評価した上での新たな市史編さんに着手する。6分野の専門部会に研究者をグループ化して編さんのための資料蓄積作業を実施する。</p>
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<p>「府中市史編さん方針」のとおり、専門的な視点からの利用に応える質の高い内容を保つとともに、その一方で読みやすく、分かりやすく、広く親しまれる市史の編さんを目指していく。また、前回の市史の存在を十分に踏まえ、市史発行以降での50年間の調査・研究成果に基づいた新たな知見を盛り込んで、更に半世紀後の市政、市民からのニーズにも耐えうる市史の編さんを行う。郷土を理解し、郷土を愛し、郷土を考えることができる市史編さんとするため、専門部会委員との連動性に配慮しながら、市内の学校や企業、地域のコミュニティ団体やボランティア団体、そして市職員や協力いただける方々との連携を図りながら事業を進める。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1521610	市史編さん審議会運営費	336,000	176,000	336,000
2	01	50	30	10	1521700	市史編さん事業費	26,523,000	22,484,740	36,178,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							26,859,000	22,660,740	36,514,000